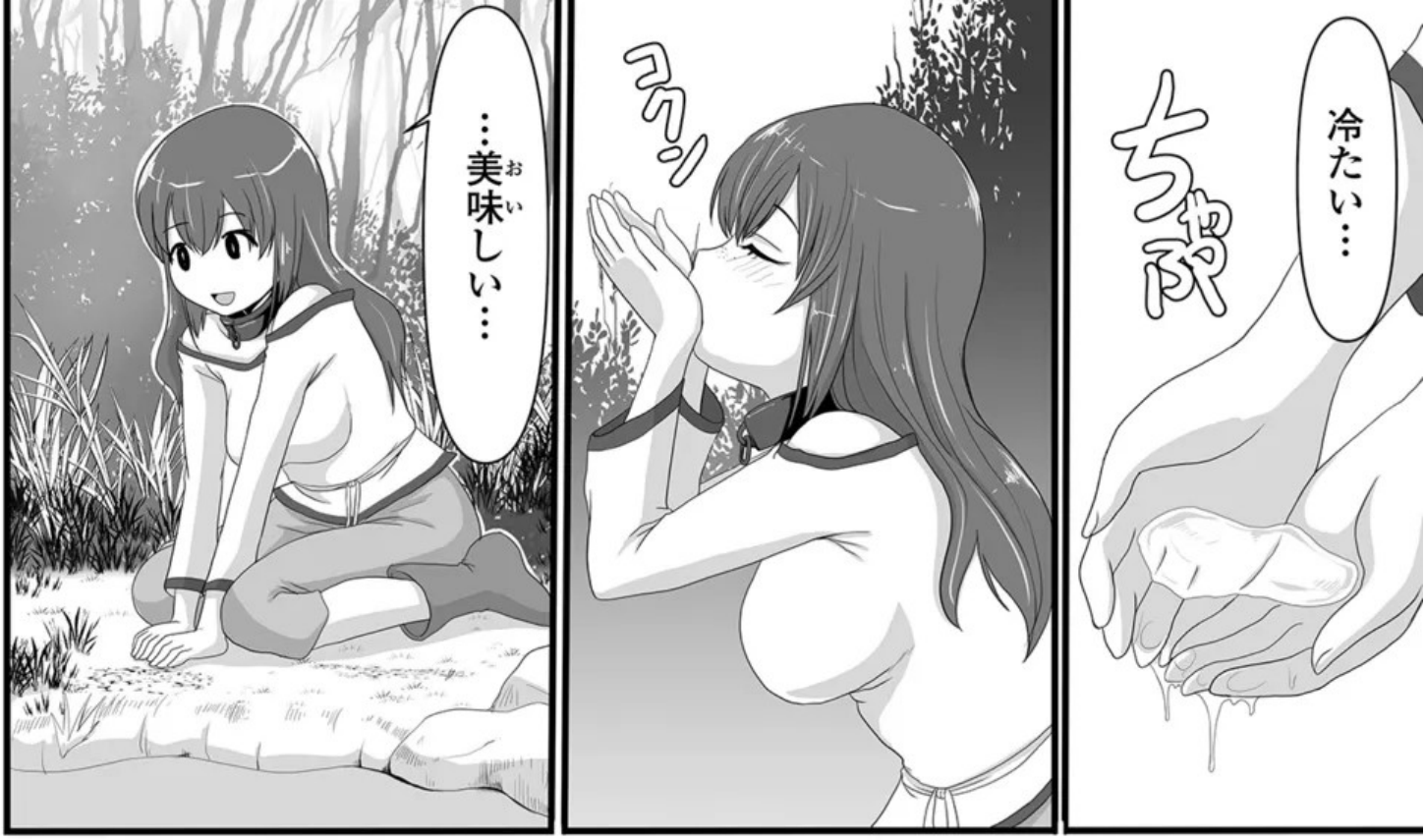
異世界
セブンシャリテス
昇龍亭圓楽
いずみコミックス
HALF

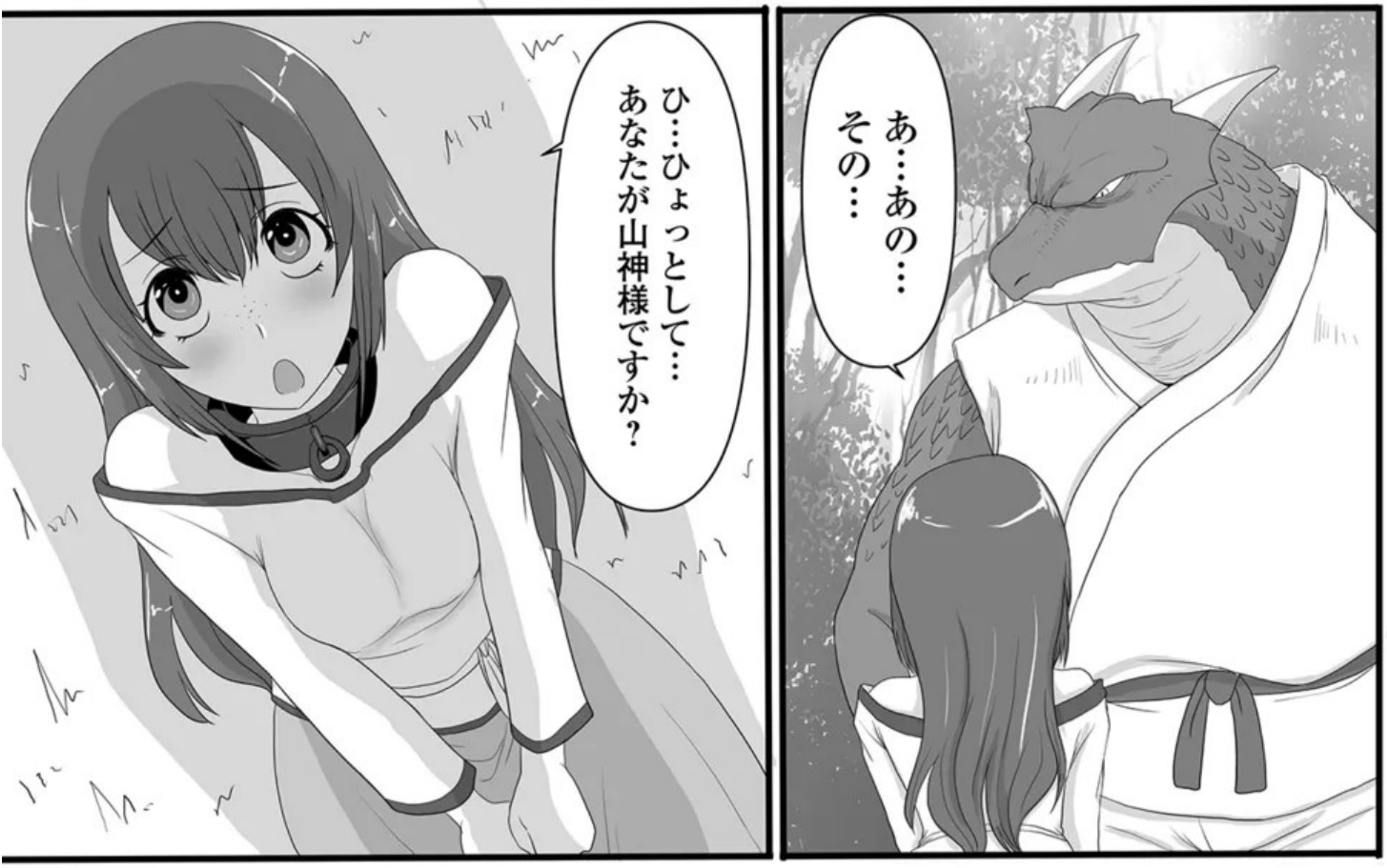
それにしても
一体どこまで行けば
会えるのかしら
今日…私は
山神様の生贄に
なりに行く
村では水不足による
凶作が続いているため
山神様にお願いをして
水の恵みを
頂くのだそうだ
その山神様への
貢物が奴隷である
私だった
はぁ
はぁ
はぁ
…あれは…
…きれい…
山神様の花嫁


冷たい…
ちゃぷ
コクン
…美味しい…

…これが…
最期の食事に
なるのかな…

誰だ？
こんな所で
何をしている
ガサッ
ビクッ!?
ひっ!?

…え？
こんな所に人間とは珍しいな…
ド…ドラゴンだ！


あ…あの…その…
ひ…ひょっとして…あなたが山神様ですか？

…何だそれは？
？
それが私と山神様の初めての出会いでした

そして出会いから数か月…
私は山神様のお世話になっている

ふう…

戻ったぞ

山神様っ

兎が捕れた
今晩はこれを使って
用意してくれ

私の身の上を聞いた
山神様は私をここに
置いてくれた

はい！
じゃあ今日は兎を使った
シチューにしますね

ガチャ

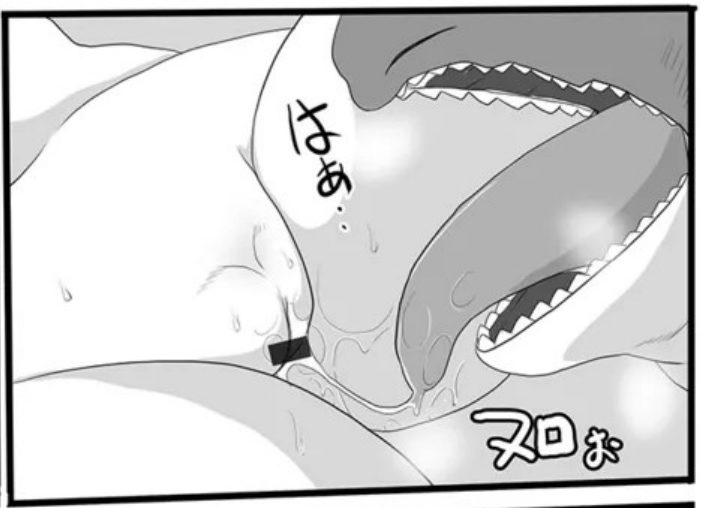
それはとても幸せな
日々だったけれど…
ただ与えられてばかりで
良いのだろうかとも思う

私も何か山神様に
与えて差し上げたい
ガチャ
あの…山神様…
ちょっと良いですか？
どうした…
何かあったのか？
!?
どういう
つもりだ人間
……
わ…私のような下賤の民は
あなたに与えるような物は
何も持ち合わせていません
でも…せめて
私の身体だけでも
受け取って
頂けないでしょうか
俺は…お前の言う
山神でもなければ
雨を降らす事もできない
それでもその身を
この俺に与えると
いうのか？
…それでも…です
ニコ。
それは私が
望む事だから

その…よろしくお願いします…
辛かったら言うんだぞ？
は…はい…
スッ
じゃあ…いくからな？
ヒキ
ヒキ
レロぉ
ピクッ
…んっ！

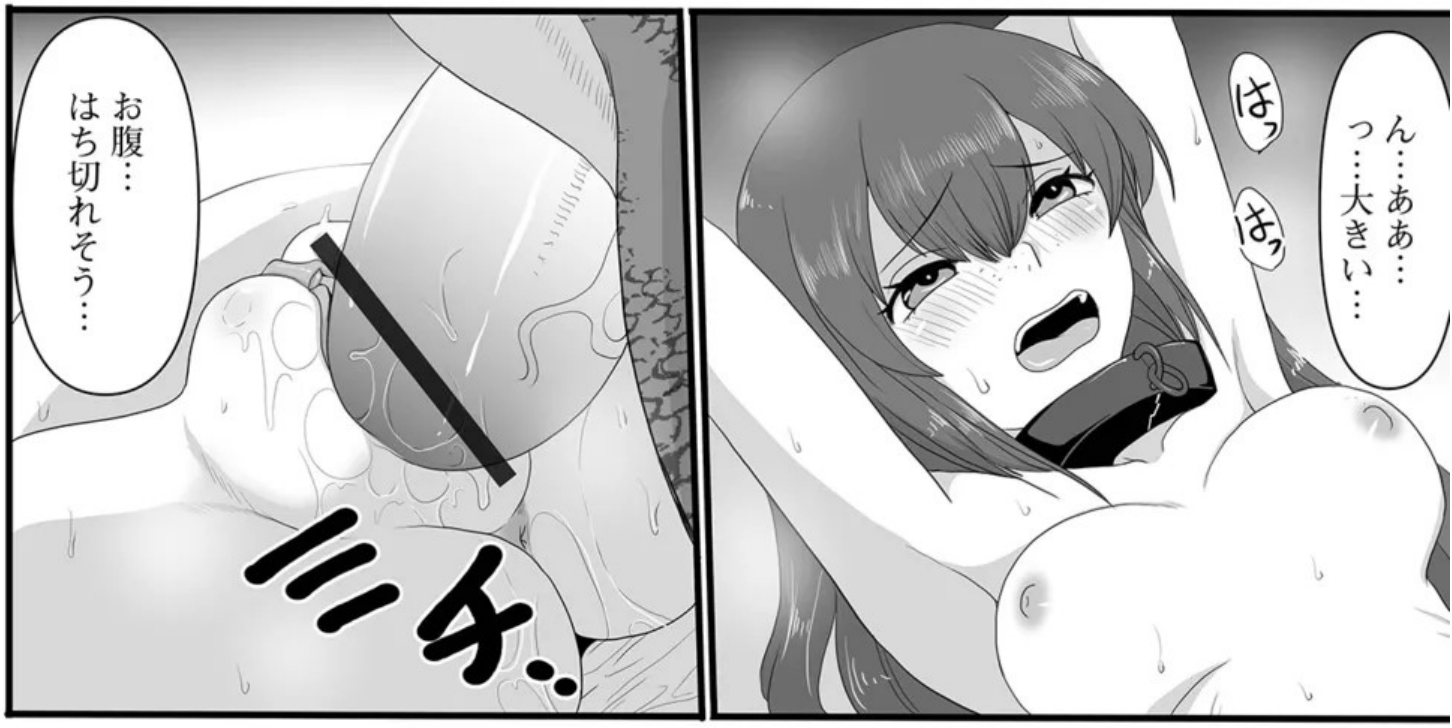
んんっ
ビクッ
じゅっ
じゅるっ
んほ!!
ビクン

人間…
いいか？
……
はぁ
はぁ


はぁ…
ヌロぉ

…あ…
ビクッ
ぴ
と…

んうう！
ズリュ


ん…ああ…
っ…大きい…
はっ
はっ
お腹…
はち切れそう…
ミチ…

大丈夫か？
動くぞ…
は…はい…
来てください
はーっ
はーっ

ぬるん…
あっ♡
んおっ♡
山神様ぁ…
んっ♡
あっ♡
あっ♡
んあっ♡

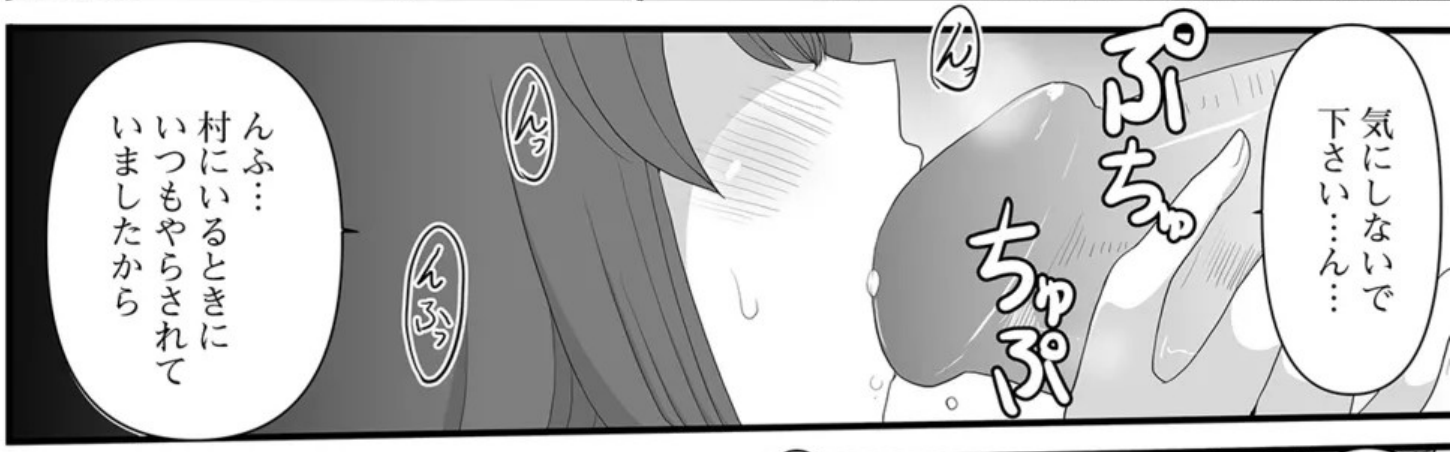
す…すごい！
すごいです山神様ぁ！
あっ♡
あっ♡
あんっ♡

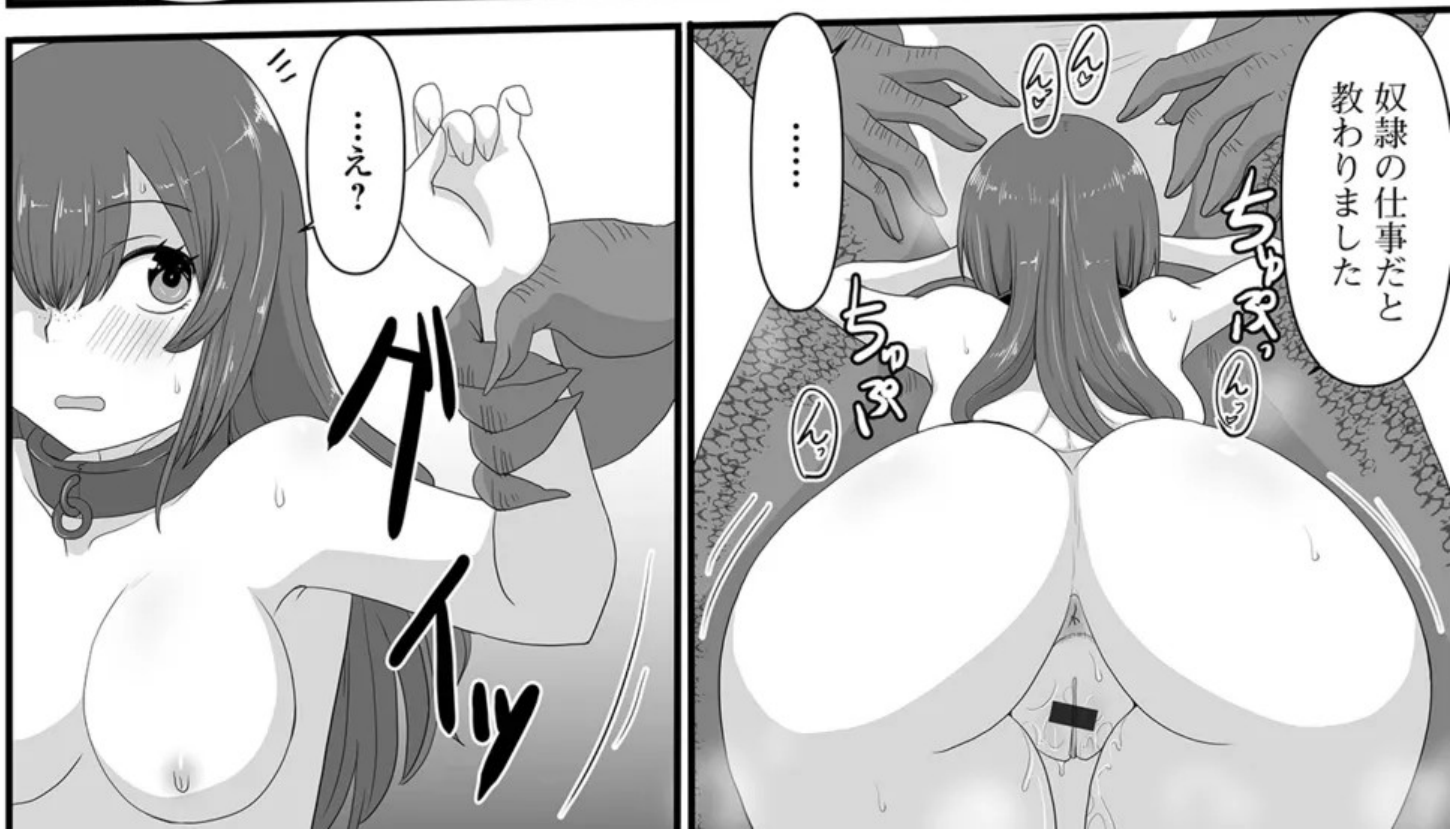
き…来ますっ！何か来ますぅぅ！
あっ♡あっ♡あっ♡

ぐ…射精すぞ！
だ…射精してっ！射精してください！
あひっ♡

んっ♥
あっ♥
んおっ♥
ビクッ
ビクッ
おっ♥
あぁ♥
ビュッ
ビュッ
はーい
あ……
はーい
ドロ…
ゴポッ
待ってください
今お掃除しますね
ギン…

…ん…
ペロ…
お…おい…
そんなことまで
しなくても…
ぞく…


気にしないで
下さい…ん…
ぷちゅ
ちゅぷ
んっ
んふっ
んふ…
村にいるときに
いつもやらされて
いましたから

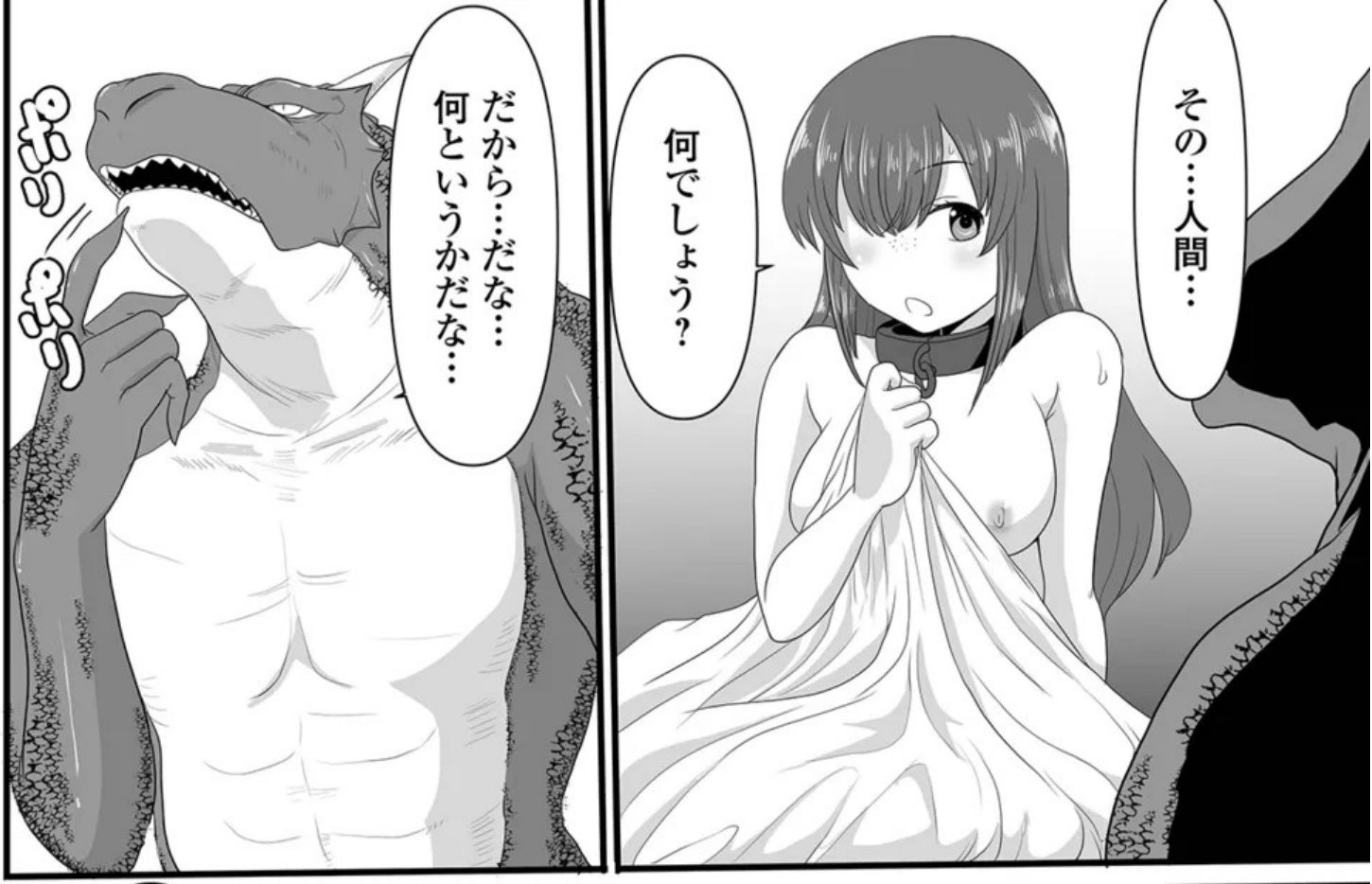

奴隷の仕事だと
教わりました
……
ちゅぷ
ちゅぷ
んっ
んっ
んっ
…え？
グイッ

ぐいっ
ピト
や…山神様？
ズン
んうっ！
ピクッ
あっ
急にどうしたんですか
ぷっ
ぷっ
んっ！
あっ♥
あっ♥
ああっ♥
チュ
チュ
チュ

ど…どうしたんですか山神様！
何をそんなに…くっ…怒ってるんですか？
ぢゅぢゅ
もあっ！
お前はもうそんな村の奴隷じゃない！
んっ…でも私は…！
そんな村の事は忘れてしまえ！
あっ
あっ
お前は…！
ひっ
あっ
お前はっ！
ん…ああっ！
ぶるん
ぶるん

俺だけのものだあああ！
ズクッ
ズクッ
んはあああ!!
ブピュ♡
ブピュ♡

ヌポ…
ズクッ
はーー
はーー
…はい…
私は山神様だけの
ものです


その…人間…
何でしょう？
だから…だな…
何というかだな…
ぬりぬり

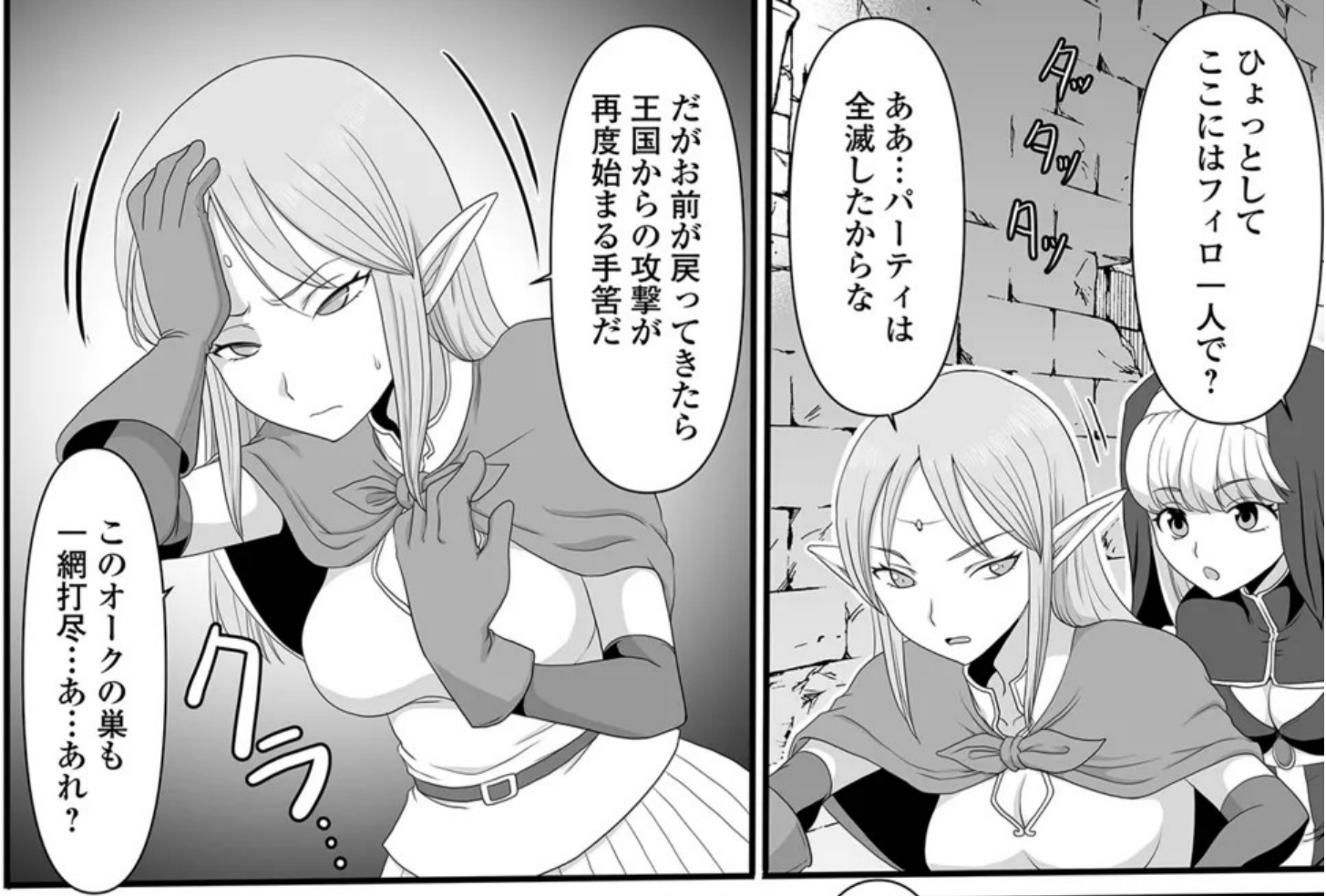
名前は何と
言うんだ？
もうお前は奴隷ではなく
その…俺の生贄なのだろ？

……
くす…
ハンナです
山神様
山神様はよせ
俺の名前は…
END

王国が今直面している
最大の危機である
スタンピートの元凶…
ガサッ
ガサ
あれが多くの
冒険者達を退けている
と云う
ジェネラルオークの
巣か…
見張りも置かずに
舐められたものだな
情報が確かなら
彼女はまだ生きて
捕らえられているはずだ…
チャキッ
必ず救い出して
みせる…
我が友を！
豚と人とエルフ

ビクトリア…！
フィロ！大丈夫!?
今 回復魔法をかけるわね！
心配するなビクトリア
この程度の傷は
舐めておけば治るさ
もう…ダメよ？
あなたも
女の子なんだから
ポワァ…
ビクトリア…
待っていろビクトリア
必ず救い出してみせる！
スッ…
…罠もない
ようだな…

しかし…
いつの間にこんな
拠点を…
それに…魔物が
1匹もいないとは
不気味だな…
…あれは…
ビクトリア！
…フィロ!?
待ってろ！
今カギを
壊してやる！
フィロ…どうして…
話は後だ！
急いで脱出するぞ！

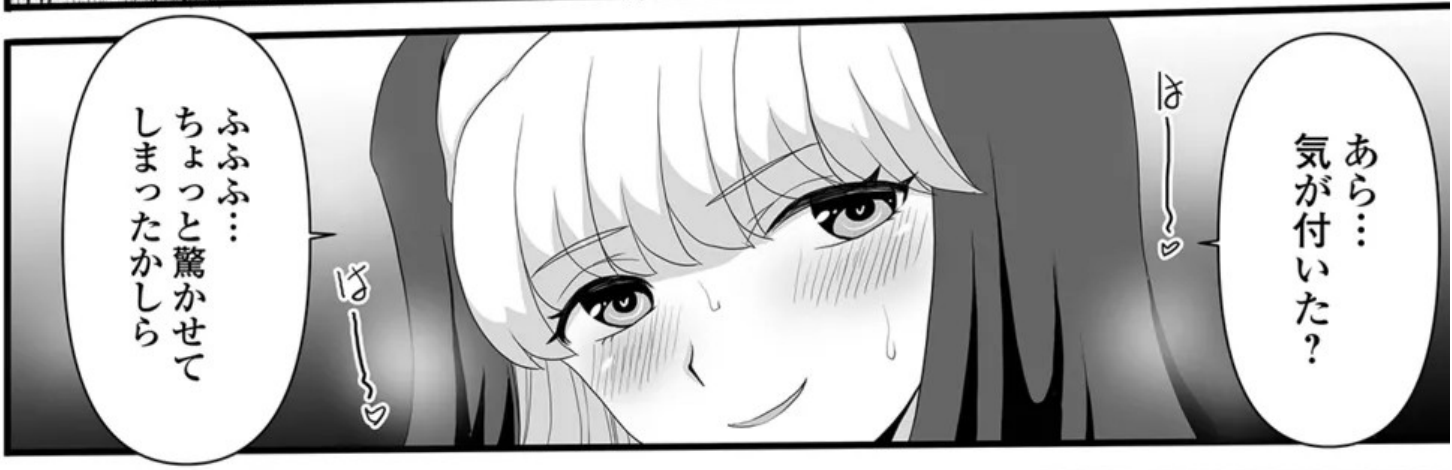

ひょっとして
ここにはフィロ一人で？
タッ
タッ
タッ
ああ…パーティは
全滅したからな
だがお前が戻ってきたら
王国からの攻撃が
再度始まる手筈だ
クラ…
このオークの巣も
一網打尽…あ…あれ？

ごめんなさいフィロ…
眠りの魔法を
使わしてもらったわ
ビ…ビクトリア？
ハー
ハー
く…ビクトリア…
お前…まさか…
ごめんなさい…
恨んでくれてもいいわ…
でも…
あなたもきっと…
バタッ…

……う…
パチ…
ハッ!?
こ…これは!?

あっ♥
あんっ♥
あっ♥
あっ♥
チュ
チュ
チュ
ビ…ビクトリア！

ああっ！
ご主人様イくっ！
イきますぅぅぅ！
ビ…
ビクトリア…？
グポッ
グポッ
ブピュ
チュ
チュ
チュ


あら…
気が付いた？
はーい
ふふふ…
ちょっと驚かせて
しまったかしら
はーい

ビクトリア…
こ…これは一体…
スッ…
ごめんなさい
これが本当の私なの…

でも大丈夫…
あなたも
すぐに気に入るわ…
ご主人様のおチンポを…
な…何を
言っているんだ
ビクトリア…
…あ…
ふーっ
ふーっ
ひぃ！
ぷち
や…やめろぉ！
んおっ!?
ビクン

や…やめ…んお!?
ビクッ♡
んおっ!
おおっ!
バチュン
バチュン
バチュン
バチュン
ビクン♡
あっ♡
おあっ♡
あらあら
高貴なエルフが
凄い声よ?
そ…そんな…
バチュン
バチュン
んほっ♡
バチュン
ゴチュン
あ♡
あ♡
ゴチュン
あ♡
ふふ…媚薬も良く
効いてるみたいね

んおっ！
ヂュ
ヂュ
ヂュ
おおっ！
がっ！
ヂュ
ヂュ
ヂュ
あうっ！
ひっ！
ひきぃ！
ゴチュン！
ゴチュン！
ゴチュン！
おっ♥
おっ
おほぉ♥

あっ！
がっ！
いっ…ぎぃっ！
おっ♥
おほぉ♥

ああ…凄い匂い…
私もまた昂って
きちゃった
はぁ♥はぁ♥
フィロぉ…
私も仲間に入れて
頂戴よぉ♥

……
れろぉ
ん…そうそう…
どう？ 私の愛液と
ご主人様の精液の味は…
はぁ
はぁ
んっ
イェッ
イェッ
んっ
んっ
ぴく
んっ！
んんっ！
ごくっ
ごくっ
もう何が何だか
頭が真っ白で…
ギチュ
ギチュ
んふぅ！
ゴチュン
んおっ！
おっ
んぼ
おん
ちゅ
ちゅ
ゴチュン
んふぅ！
ふふふ…もうすっかり
ご主人様の
おチンポに夢中ね

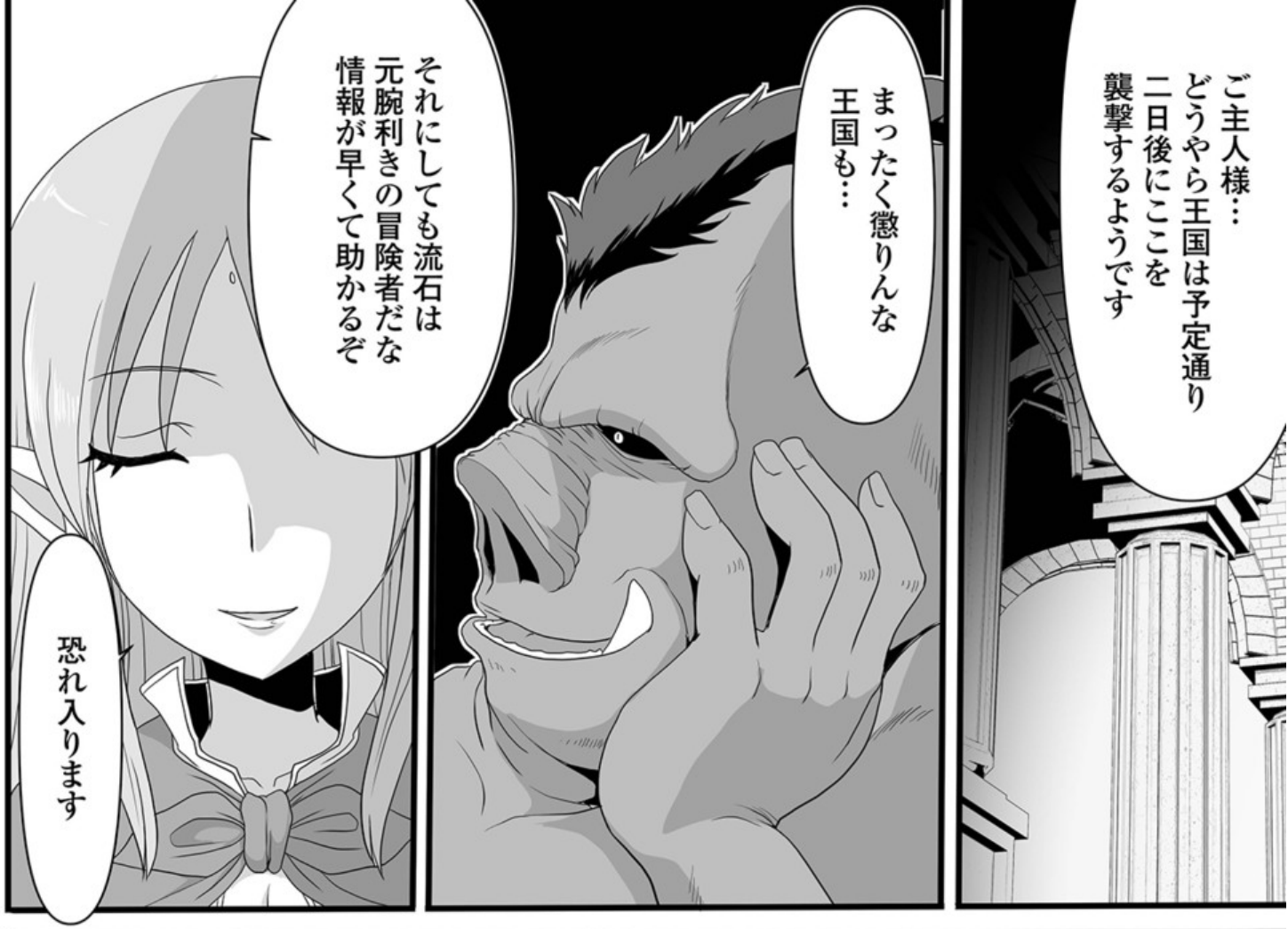
あっ…
ゲイッ
ズチュン！
んほぉ！
ギチッ
ギチッ
おっ！
ぞくっ
ぞくっ
ぶるんっ♡
おおっ！
ぶるんっ♡
チュ
チュ
チュ
チュ
んおっ！
快楽が凄すぎて…
何も考えられない！

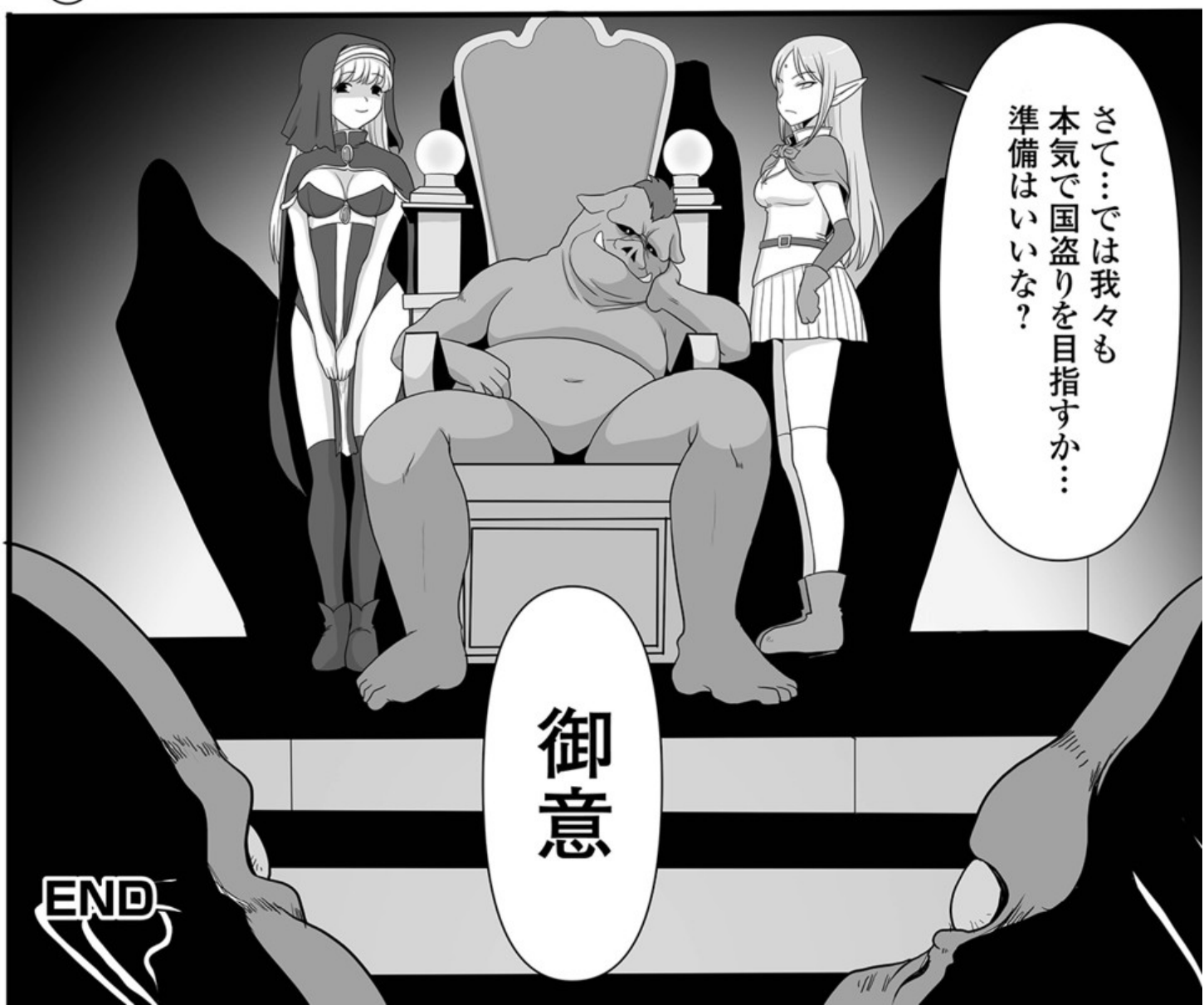
ご主人様ぁ～
私の穴も
また欲しくなって
きちゃいましたぁ♥
お情けを
お願いしますぅ♥
んあああっ！
ニヤぁ…
ご主人様の
太い指がぁ♥

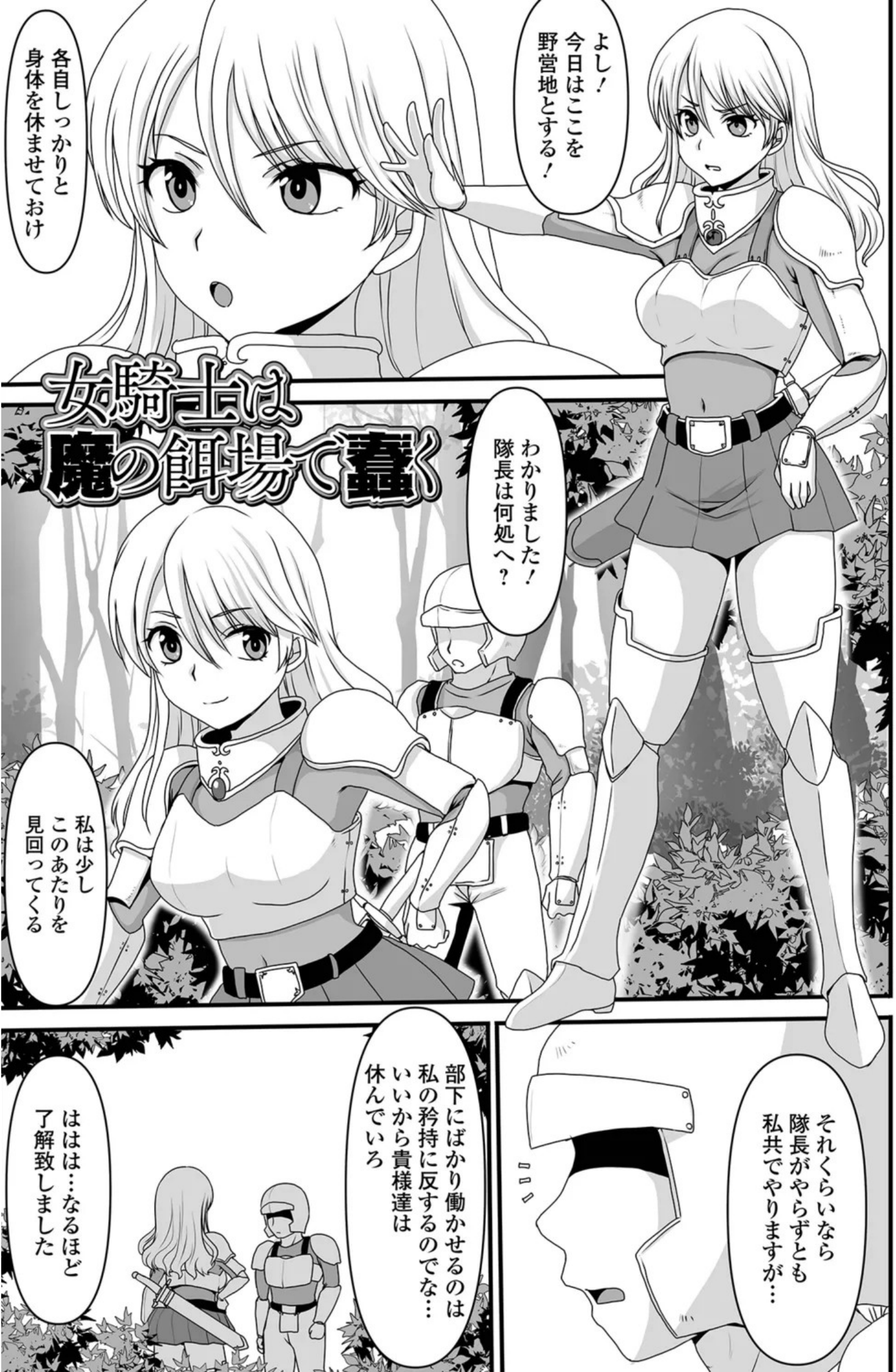
あっ！くるぅ！
何かくるううう！
キチュ
キチュ
キチュ
ひっ
あっ！
ご主人様すごいっ！
すぐにイっちゃいますぅ！
おっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぷちゅ
ぷちゅ

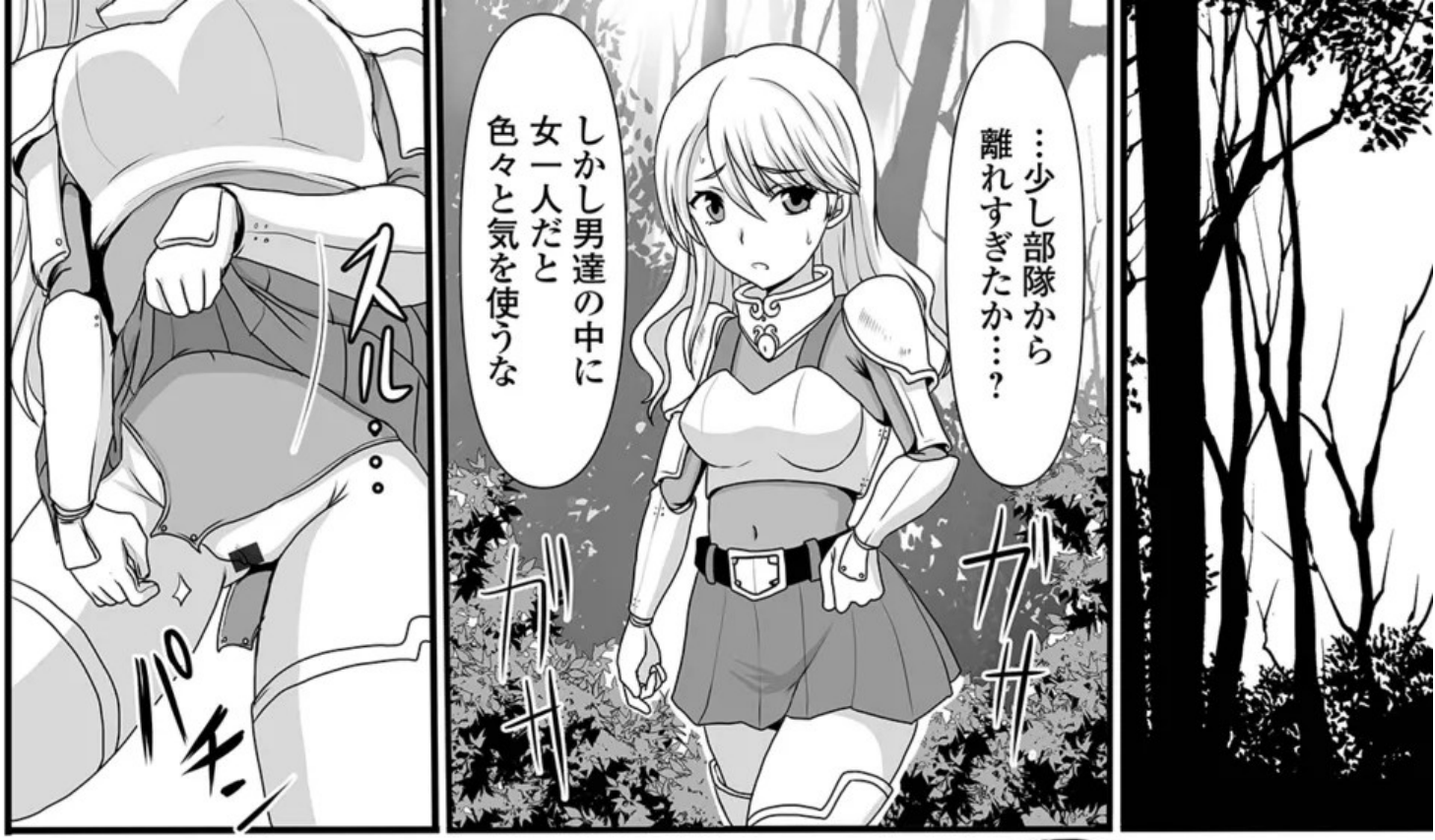
お…おまんこ…
イっちゃううう！
ぐぐ
ぐぐ
キチュ
キチュ
い…いぐっ♥
びくっ
あっ
びくっ
あっ
いぎますううう！
しゅぷっ
しゅぷっ

オホェル
んおぉぁぁぉぉぉ
びゅくんっ
びゅくんっ
ビクトリア…
はーい
ぴちゃ
フィロ…
はーい

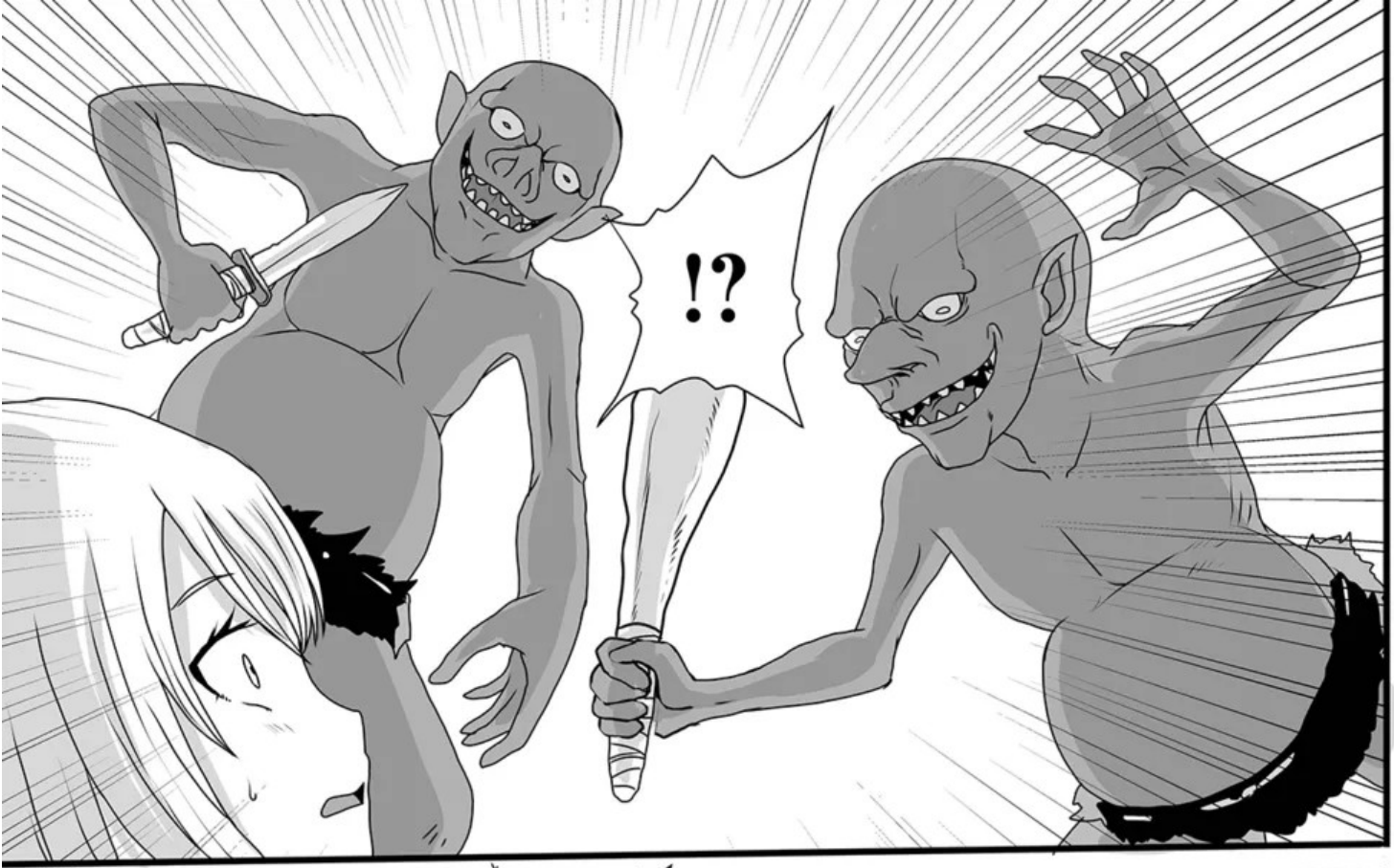

ご主人様…
どうやら王国は予定通り
二日後にここを
襲撃するようです
まったく懲りんな
王国も…
それにしても流石は
元腕利きの冒険者だな
情報が早くて助かるぞ
恐れ入ります

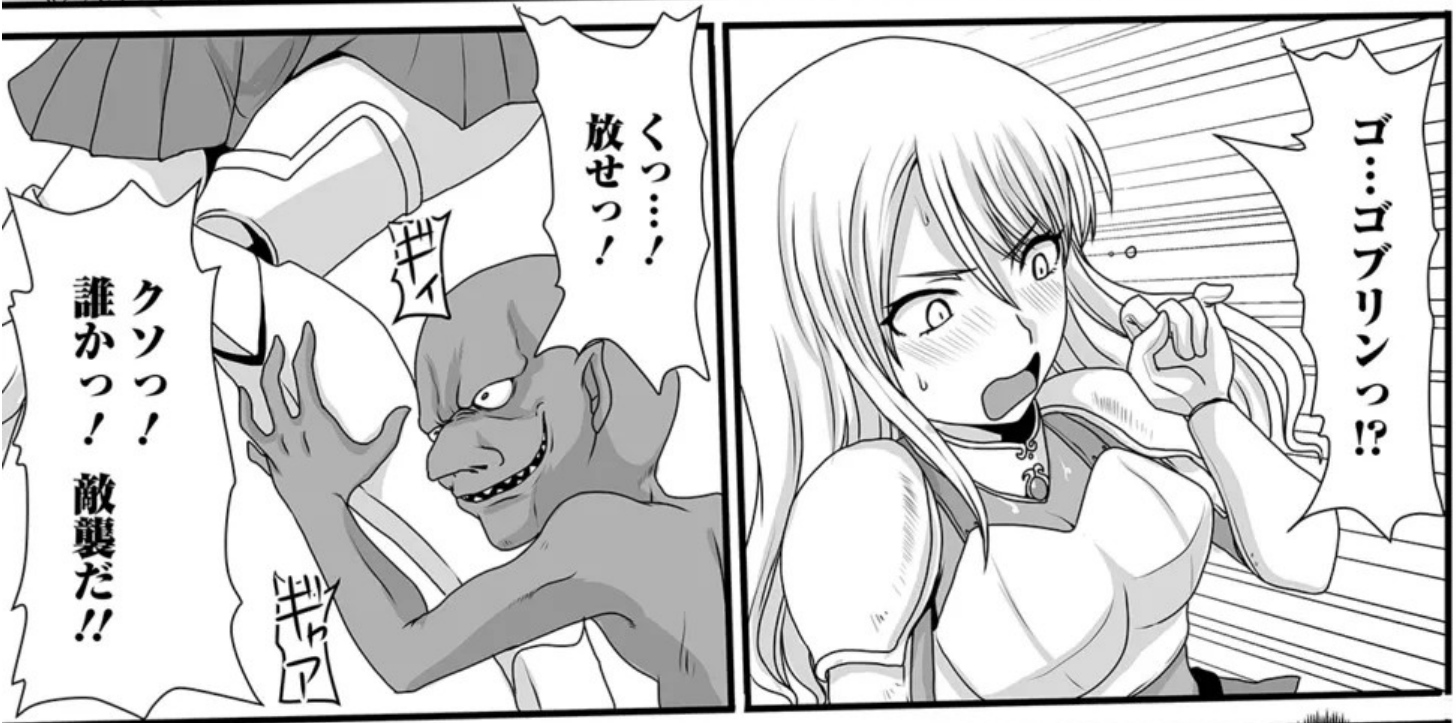

さて…では我々も
本気で国盗りを目指すか…
準備はいいな？
御意
END


よし！
今日はここを
野営地とする！
各自しっかりと
身体を休ませておけ
女騎士は
魔の餌場で蠢く
わかりました！
隊長は何処へ？
私は少し
このあたりを
見回ってくる
それくらいなら
隊長がやらずとも
私共でやりますが…
部下にばかり働かせるのは
私の矜持に反するのでな…
いいから貴様達は
休んでいろ
ははは…なるほど
了解致しました


…少し部隊から
離れすぎたか…？
しかし男達の中に
女一人だと
色々と気を使うな
ガサ
ガサ
スル…
パキン

…ふう…
しゅるるるる…
スッ
スッ
ガサ
…ん？


!?

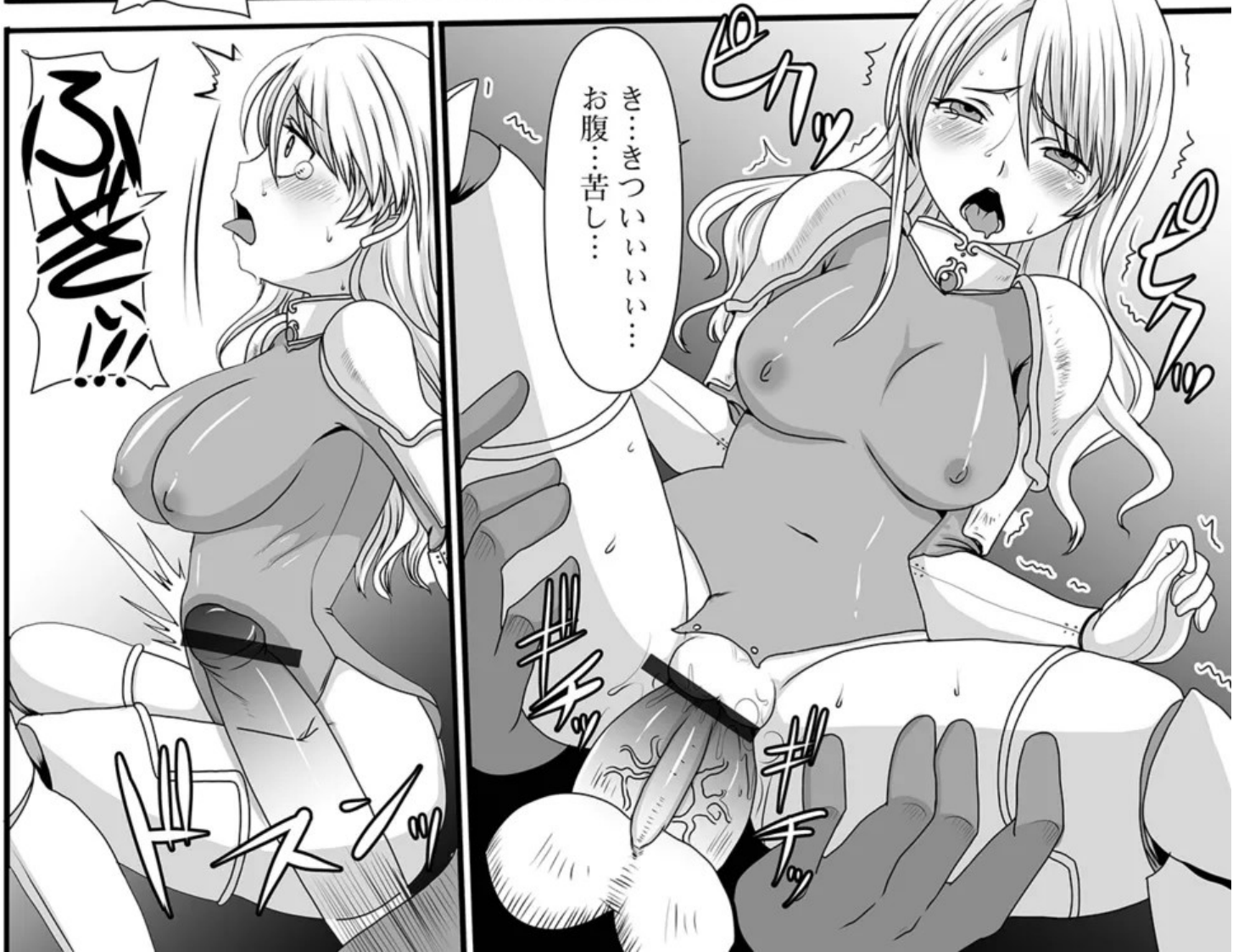

ゴ…ゴブリンっ!?
くっ…！
放せっ！
クソっ！
誰かっ！ 敵襲だ!!

部隊から離れすぎたのが裏目にっ！
くっ…
このゴブリン風情がぁ!!

ひぃっ!?
いやあああああっ!!
ギッ♪
ギッ♪
ガサッ
ガサッ
グギッ?
ギャギャ!
ギギャ!!
ギャーッ
ギャーッ
え…ゴブリンが逃げた?
部隊のみんなが気付いてくれた!?
みんな!よく来てくれ…

ミ…ミノタウロス…
タッ
へ
……た…
ブフゥ
ぬわ――…
ブモオオオオ
い…いやあああ!!

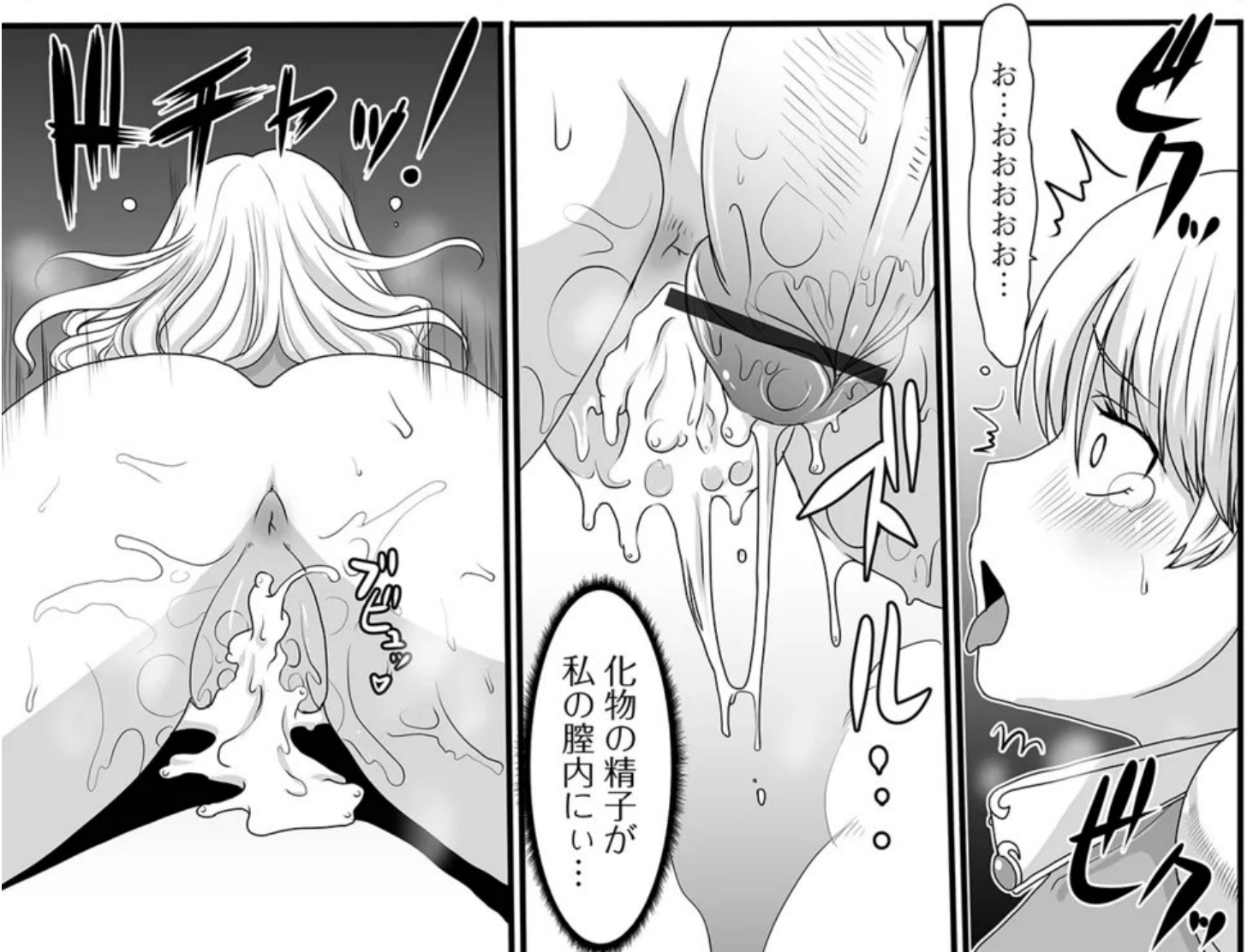
…え？
ぴと…
ち…ちょっと
待ってくれ…！
んおぅ！
ズン
おおおおっ!!


き…きついいいい…
お腹…苦し…
ピクッ
ピクッ
ヒクッ
ふぁ!!!
ドスンッ

んあっ！
ブモッ
ブモッ
があっ！
あうっ！
ブモッ
ブモッ
あがっ！
あぎっ！
あうっ！
ああっ！
うぐぅ！
ゴンッ
ゴンッ
いぎっ！
があっ！
いぎぃ！
あぎいいいっ！
ゴチュン
ゴチュン
ゴチュン
お腹が…
破裂するぅぅぅぅ！

んあっ！
ぐるじい…
ぐるじいいいい！
こんな化け物に犯されるなんて…！
あっ！
あっ！
おんっ！
おおっ！
何で…
こんなに苦しいのに…何でっ！

何でこんなに
身体は喜んでいるの!?
ズクッ
ズクン
んおおおお♥♥


ズクッ
お…おおおおお…
ズクッ
化物の精子が
私の膣内にぃ…
ドチャッ!
ブビュッ♡

ガッ
…へぇ？
ガッ
あ…暴れてる…
化物の精子が
私の子宮で暴れてるぅ…
うあぁ…
うう…

ま…まさか
まだ犯すつもりか…
な…何だ…？

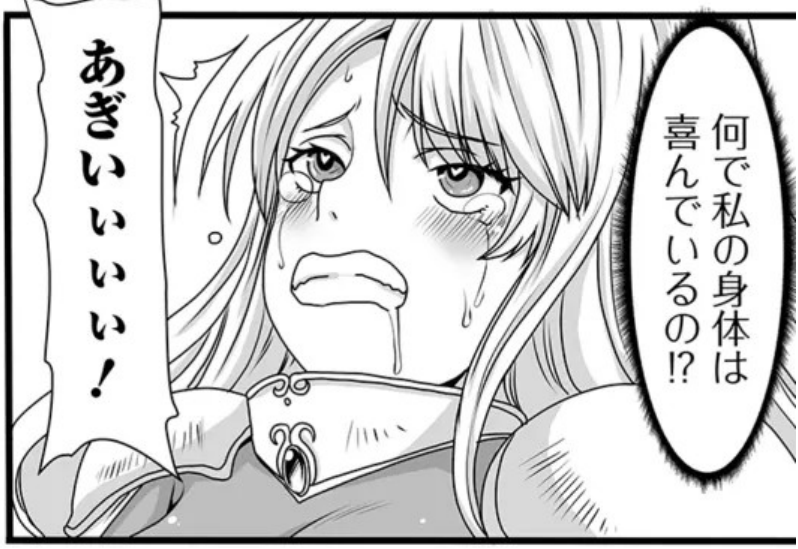
ズチュン
んおう♡

ギチュ
ギチュ
ギチュ
あっ！
いやぁ！

ひ…酷い…
何でこんな事に…
ゴチュン
ゴチュン

子宮が壊れるぅう！
ギチュ
ギチュ
ギチュッ
あっ！
はっ
はっ
あぎぃ！
んあっ！
ひいっ！

子宮が
壊されそうなのに…
んあっ！
ゴチュ
んおぅ！
ゴチュ
ゴチュ
…何で…


何で私の身体は
喜んでいるの!?
あぎいいいい！

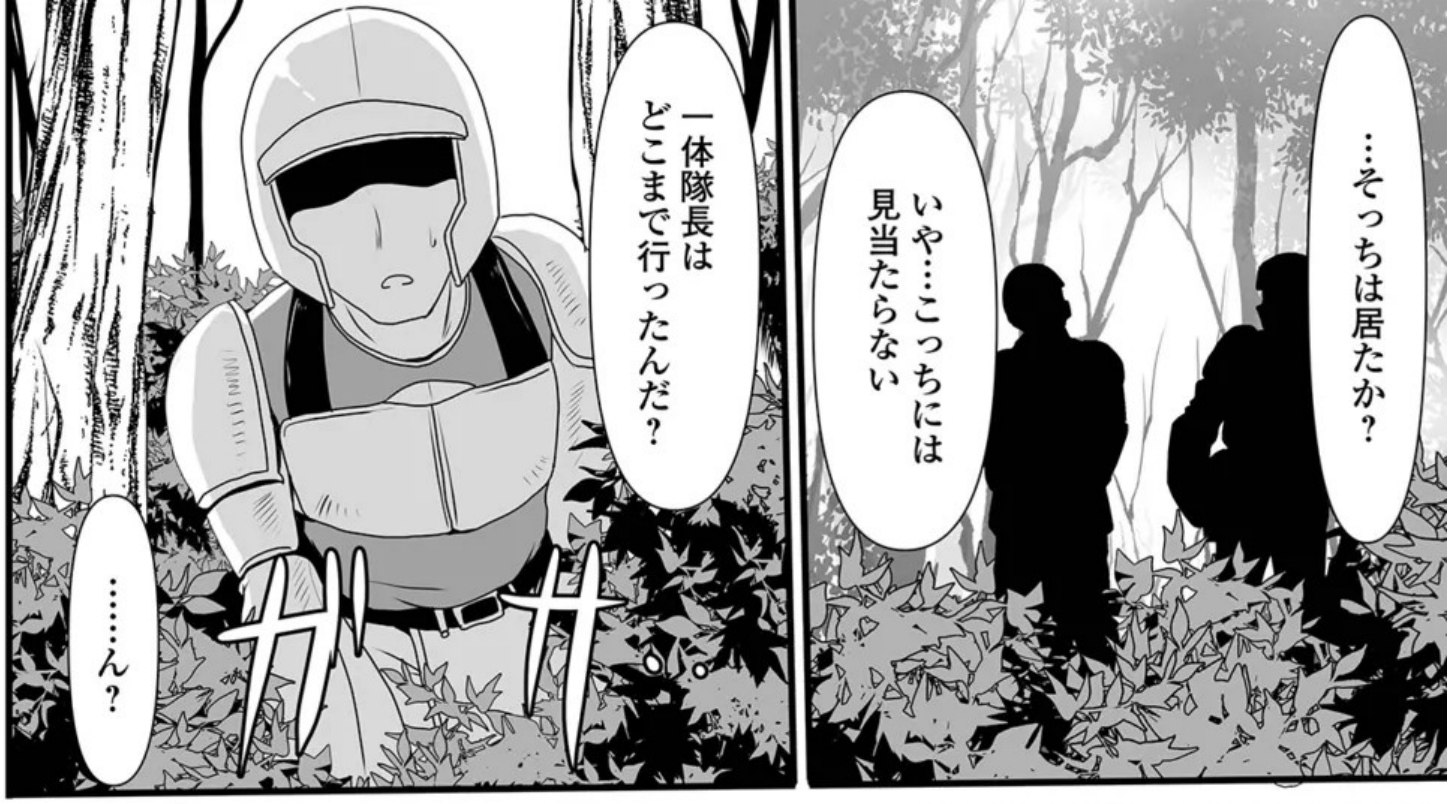
おっ
ゴッ
ゴッ
ズチュ
おんっ！

いぎいいいいいいいいい!!
はひぃっ!!
ゴチュン
ゴチュン
き…気持ち
いいいいい！

んがぁ！
ブチュ
ブチュ
あうっ！
お…おほっ！
ぐぐっ♡
ぐぐっ♡
ゴッ♡
ゴッ♡
ほうっ！
おっ！
おっ！
おっ！
ゴン
ゴン
ゴン
おんっ♡
んおうっ！
あっ！
はぁはぁ
おんっ！
ゴチュン
ゴチュン
あはぁ！

んあぁっ！
あうっ！
あふうぅう!!
レロお…
ん…んぶうぅう！
く…臭い牛ベロが…
脳が…痺れるぅ！
んほおおお
あ…チンポが
膨らんできたぁあ！
出るの…？
クッサイ牛の精子
で射精ちゃうのぉ？

くる…来るんだ…
また牛チンポから
精液注がれるんだぁ…
ゴチュ
ゴチュ
お♡
おん♡
あ♡
ブモォォォ!!
ブピュ
ビクッ
ビクッ
おほぉぉぉぉ♪
だ…駄目だ…
このままでは…
このままでは
幸せになってしまう!
ボト
ボト

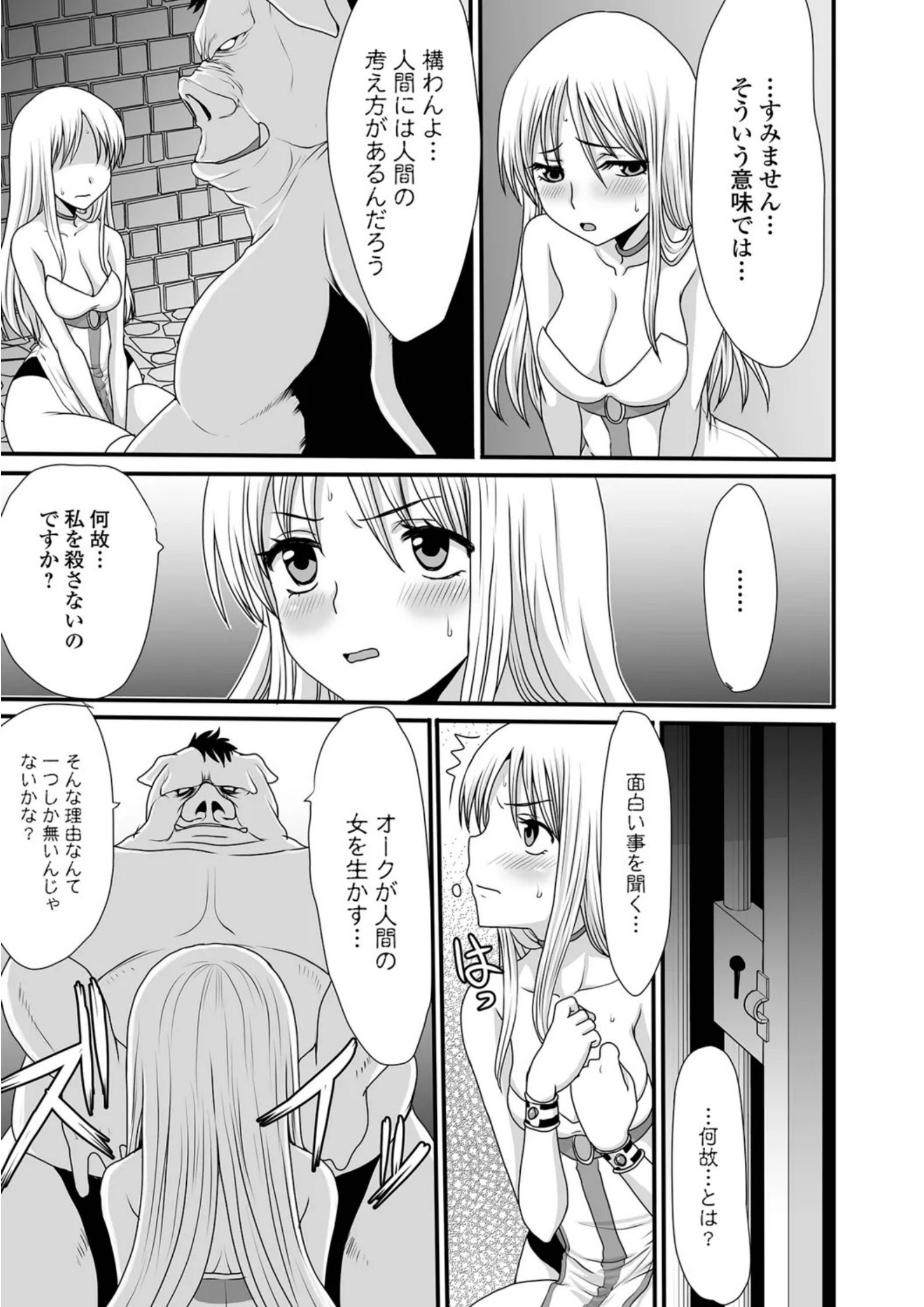

…そっちは居たか？
いや…こっちには見当たらない
一体隊長はどこまで行ったんだ？
ガサ
……ん？

!?

お…おい！こっちだ！
ヒクン
ヒクン
私は…もう…
END

ザイ！
ロイドに防御バフだ！
わかった！
く…くそっ！
こいつらオークの
くせに何で
こんなに戦略的なんだ！
ぐっ！
豚退治の簡単な
クエストのはずじゃ
なかったのか!?
ブルクロン
豚と人
ぐあっ！
ドス
ドス
マリス！
早くザイに治療
魔法を！
は…はいっ！
ザイっ!!
どうして
こんな事に…
大地の女神よ
癒やしの光を！
こんなはずでは
無かったはずなのに…

そして私は…
…ほう…
!?
オークが
人間の言葉を…
冒険者共の
唯一の生き残りは
神官様だったか
下等な生物が
人間様の言葉を
喋るのがそんなに珍しいか？


…すみません…
そういう意味では…
構わんよ…
人間には人間の
考え方があるんだろう
……
何故…
私を殺さないの
ですか？
面白い事を聞く…
はっ
…何故…とは？
オークが人間の
女を生かす…
そんな理由なんて
一つしか無いんじゃ
ないかな？

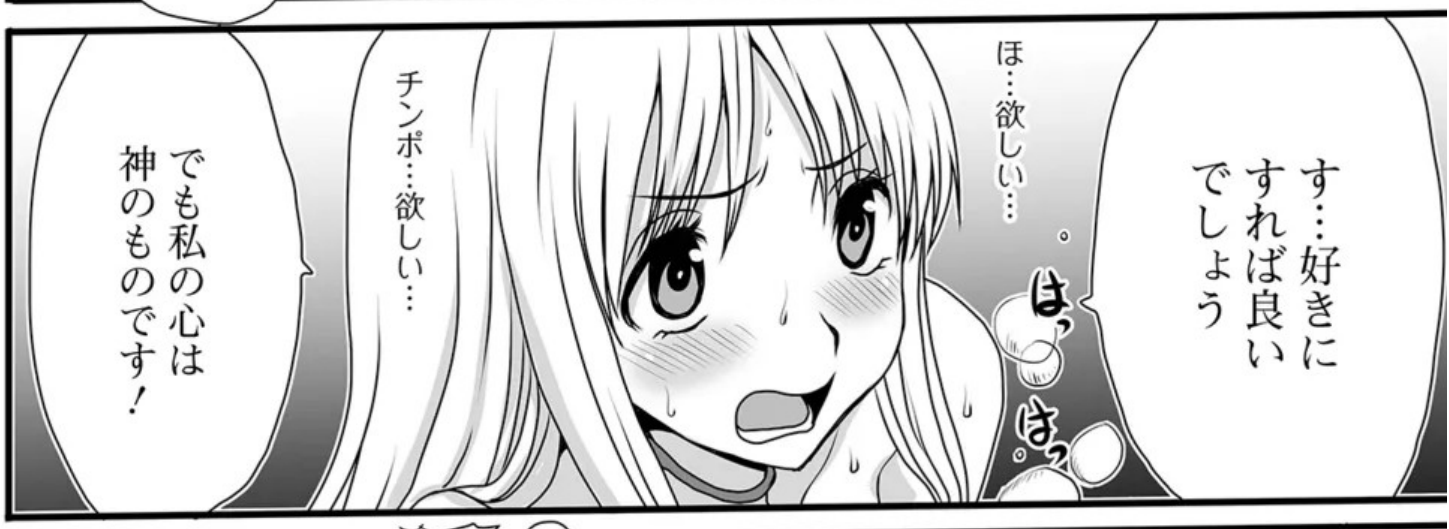
……
魔物は
やはり魔物ですか…
ガッ
言ってくれるな…
だが人間らしい
あっ!?
だが少なくとも
俺達は同族を
犯したりはしない
!!
きゃっ!?

話し合いもすること無く
魔物を悪と
決めつけ殲滅する…
人間らしい
行動倫理だ
どの世界でも
変わらない…
ぶるん
本当に人間らしくて
反吐が出そうだ
あ…あなたは
一体…？
舐めろ…
それが今お前が
する事だ
……
…分かりました…

…ん…
ぷちゅ
れろ
ん…
ぐぷぷぷ…
…んんっ…
んっ
じゅぽ
じゅぽっ
いいぞ…流石
神官様は聖なる
モノの扱いが上手い
んんっ
ぐぽっ
んぷっ
んっ
ぐぽっ
ぐぽっ
んっ
それとも元々
雄を喜ばせる
才能があったのかな？

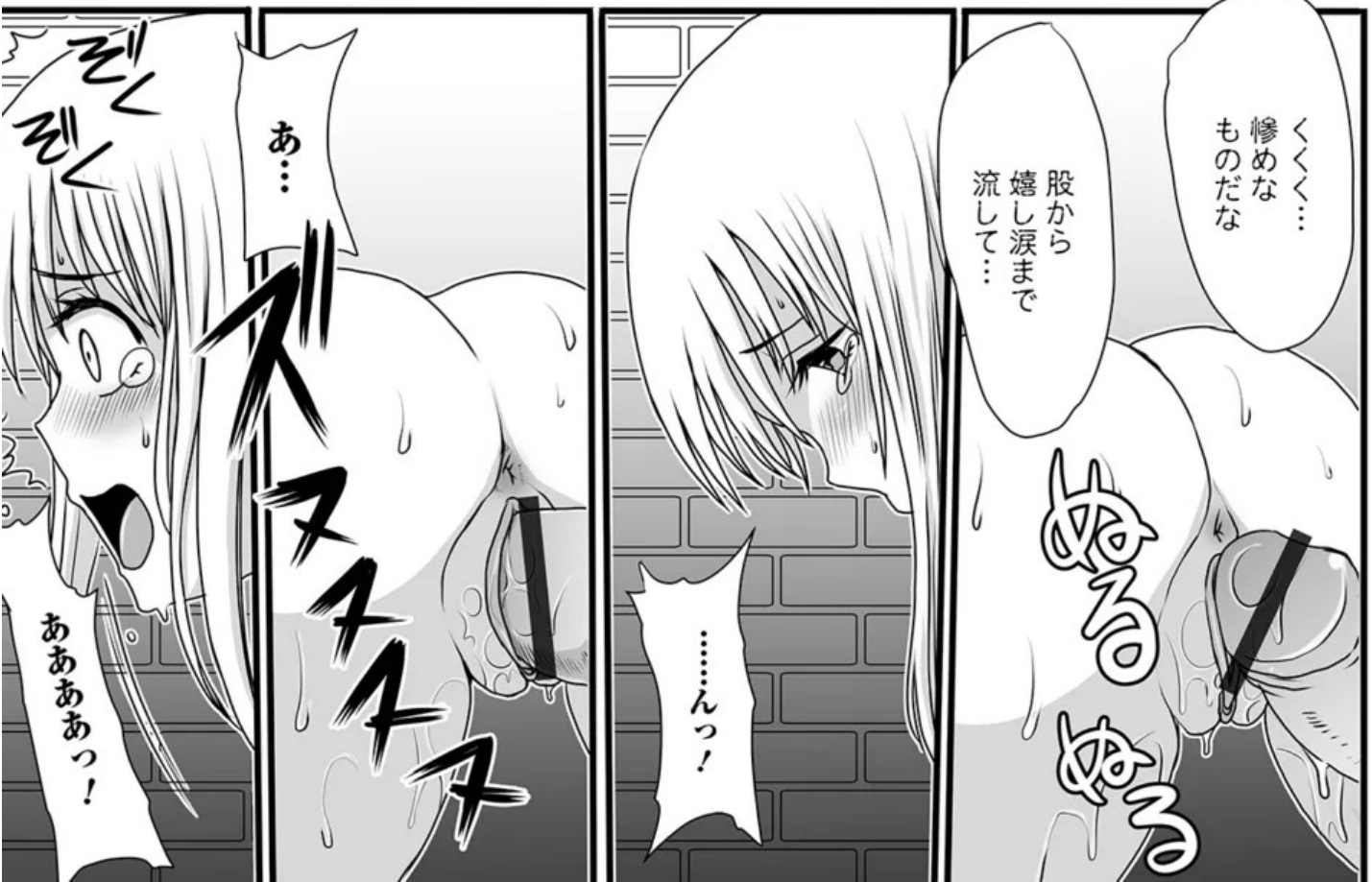
そろそろ
イくぞ…
ふっ
ふっ
ふっ
ドビュル
んんっ!!?
ゴホッ
ゴホッ
あ…あれ？
何か身体が急に…
トクン♡
あ…あなた…
私に何をしたんです！
はぁ
はぁ
くくく…身体が火照って
仕方がなさそうだな
オークの精液には
より多くの繁殖を
促すために媚薬の
効果がある
これもお前の崇める
神の恩恵かもしれんな
な…神への冒涜は
許しませんよ！

冒涜なものか…
繁殖は
自然の摂理
その摂理に
正しく従う
だけだ


す…好きに
すれば良い
でしょう
ほ…欲しい…
はっ
はっ
チンポ…欲しい…
でも私の心は
神のものです！

何か考え違いを
しているようだな
い…嫌っ！
俺が犯すんじゃない
お前が俺に犯して
もらうんだ
ん
くちゅ
くちゅ
あ
どうせもう
雌穴を塞いで欲しくて
しかたないんだろ？
ほ…欲しい…
素直になれ
チンポで雌穴を塞いで
欲しい…
ふ～っ
ふ～っ

……
わ……
私の雌穴を
そのチンポで
塞いで下さい…
もう…我慢
できない…


くくく…
惨めな
ものだな
股から
嬉し涙まで
流して…
ぬるぬる
……んっ！
あ…
ズブブブ
ああああっ！

んうっ♡
お♡
あ♡
お♡
おん♡
キュ♡
キュ♡
キュ♡
ひっ♡
あ♡
き…気持ちいいいっ!!
あ♡
あ♡
キュ♡
キュ♡
キュ♡
じゅぷっ
じゅぷっ
雄のチンポってこんなに気持ち良かったの!?

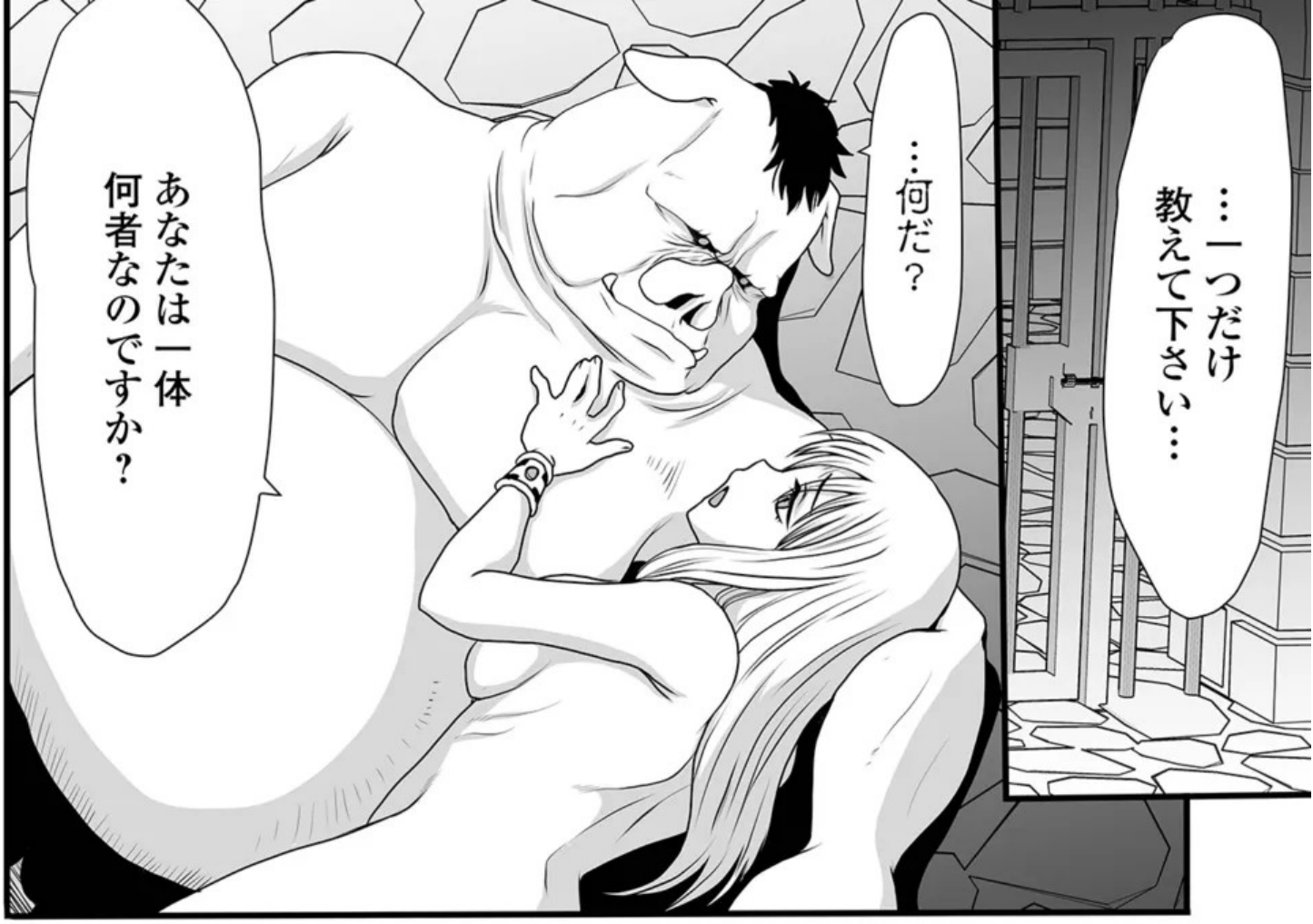
あ♥
チュ
あひっ
チュ
あ♥
あ♥
んお♥
ほらどうだ
雌になった
気分は？
あっ！
い♥
あ♥
き…気持ちいい！
ぎもぢいいのおおお!!

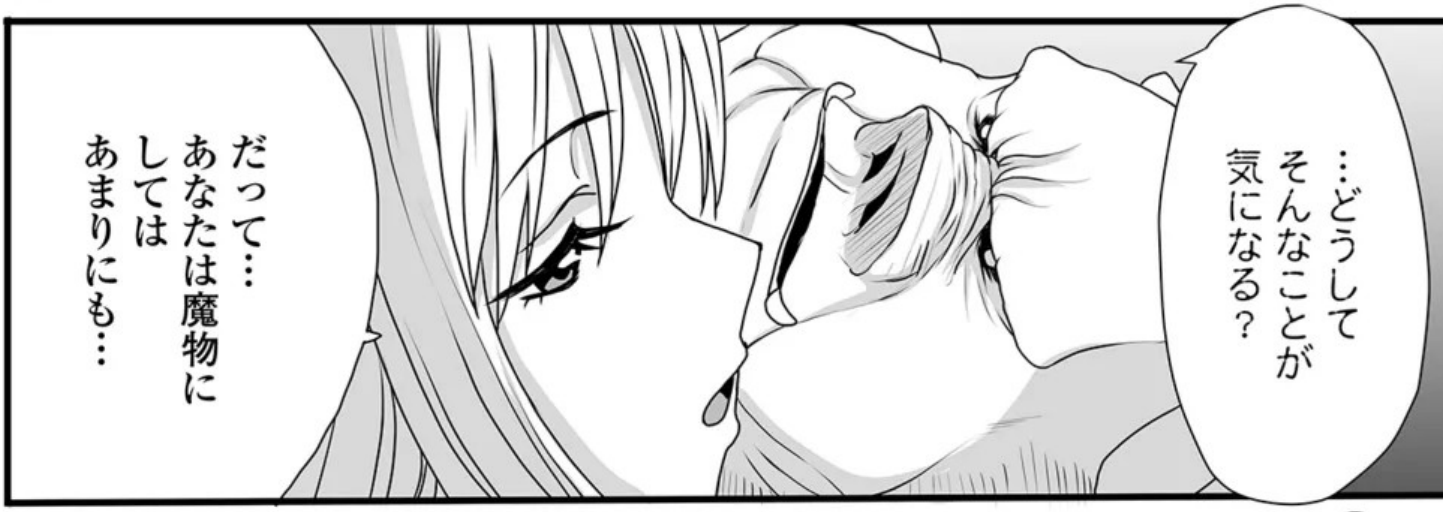
ひぃっ♡
あひぃ♡
ズチュン
ズチュン
んっ♡
ズチュン
あっ♡
だ…ダメっ！
頭バカになるうううう！
そうだ！バカになれ！
交尾以外考えられない
バカになれぇ!!
おっ♡
あひぃいいいいっ♡

ほらもっと
舌を絡めろ
ふ…ふぁい…
ん…
ベロ
ベロ
キチュ
キチュ
キチュ
んひぃぃ!!
ズクズク
キュッ
んっ
めっ
キチュ
う…急に締め付けが…
そうか…今イッたな?
ふはははは!!
おっ
おおおっ

だがまだだ…
これから本番だ！
ウィッ
ゼクーン
んらぁあああ!!
ゴロン
ま…待って…
今…身体が
敏感になって…
おん
キッ
キッ
んぉ
はは
豚のような
鳴き声だぞ
んおおおっ♡
しゅぷっ
しゅぷっ
しゅぷっ

な…なるっ！
なりますっ！
雌豚に
なりますぅぅぅ!!!
ゴッ!!
ゴッ!!
ビクッ
ビクッ
ぴっ♥
ぐぅ…射精るぞ！
受け止めろ！
ぴぃぃぃぃぃぃぃ♥
せーの
せーの
せーの

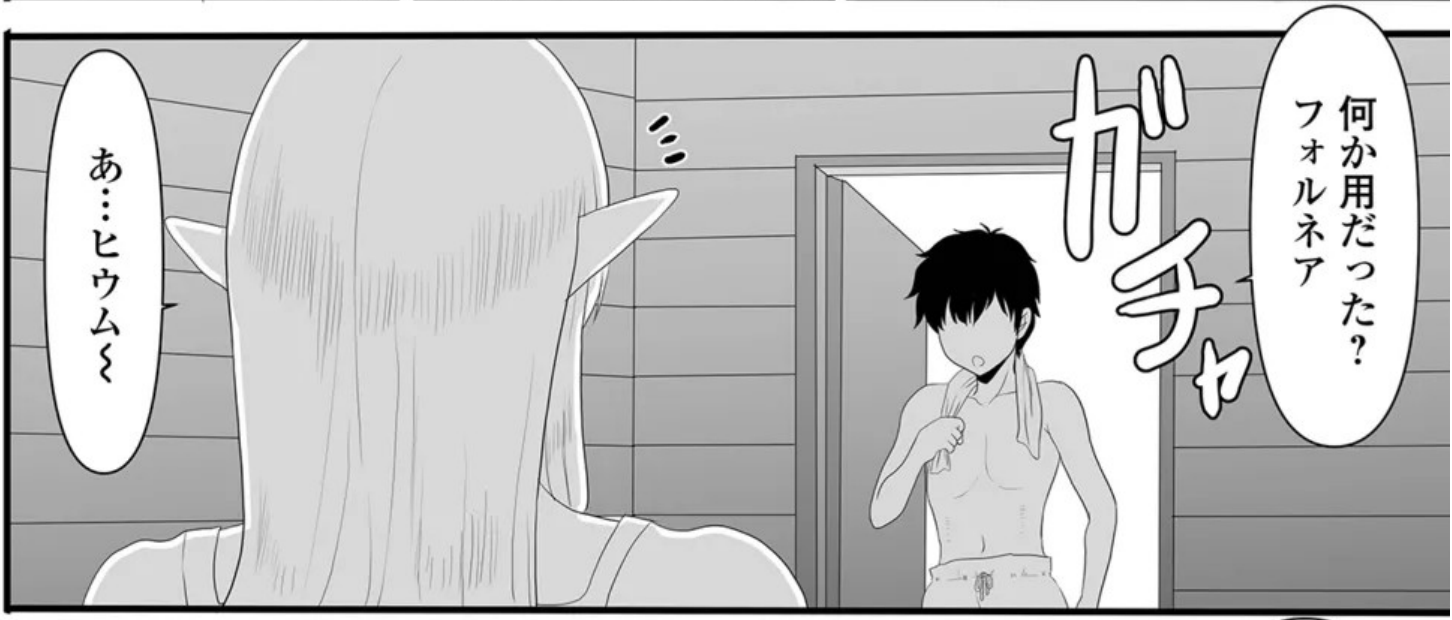

…一つだけ
教えて下さい…
…何だ？
あなたは一体
何者なのですか？

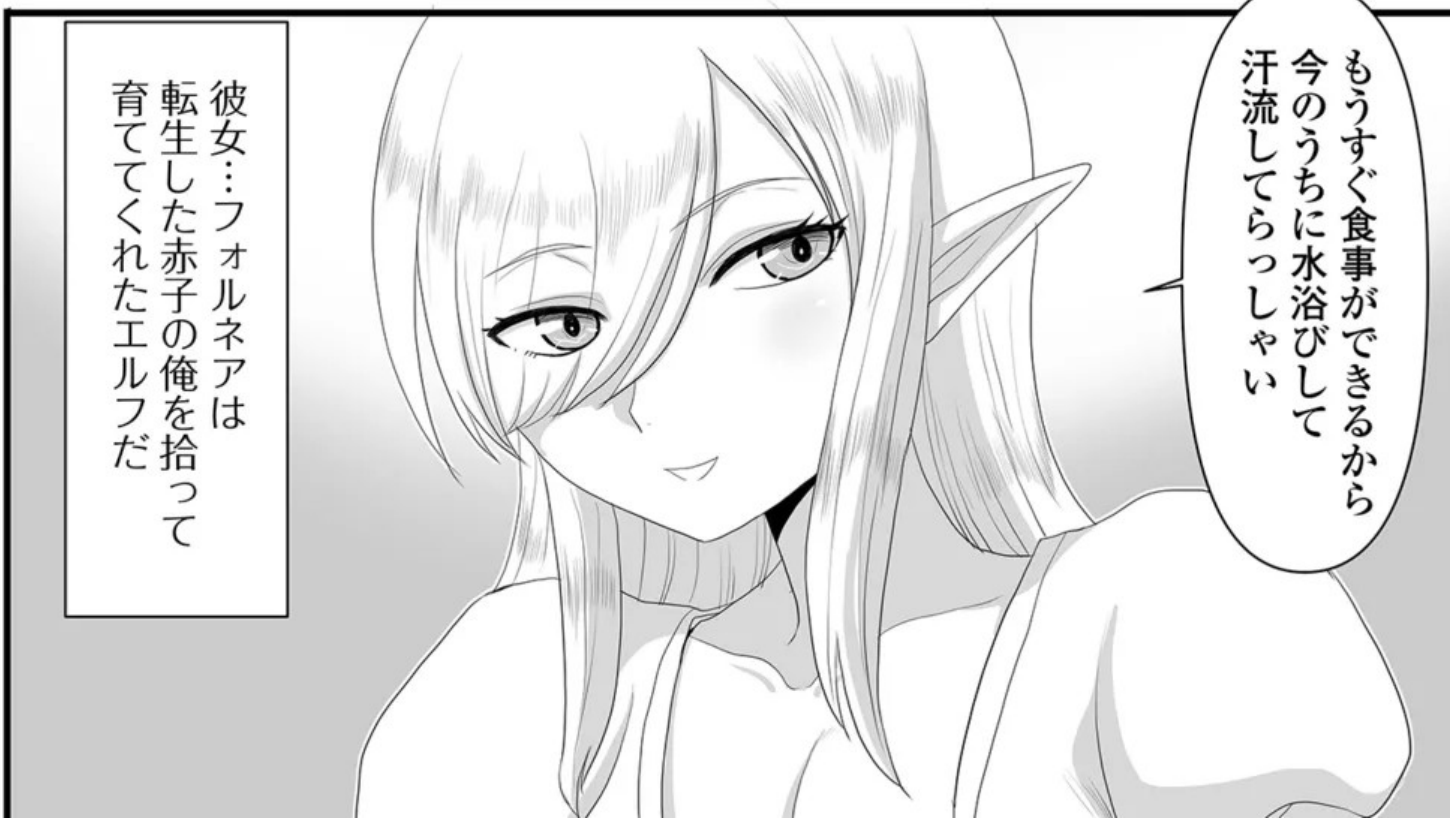

…どうして
そんなことが
気になる？
だって…
あなたは魔物に
しては
あまりにも…

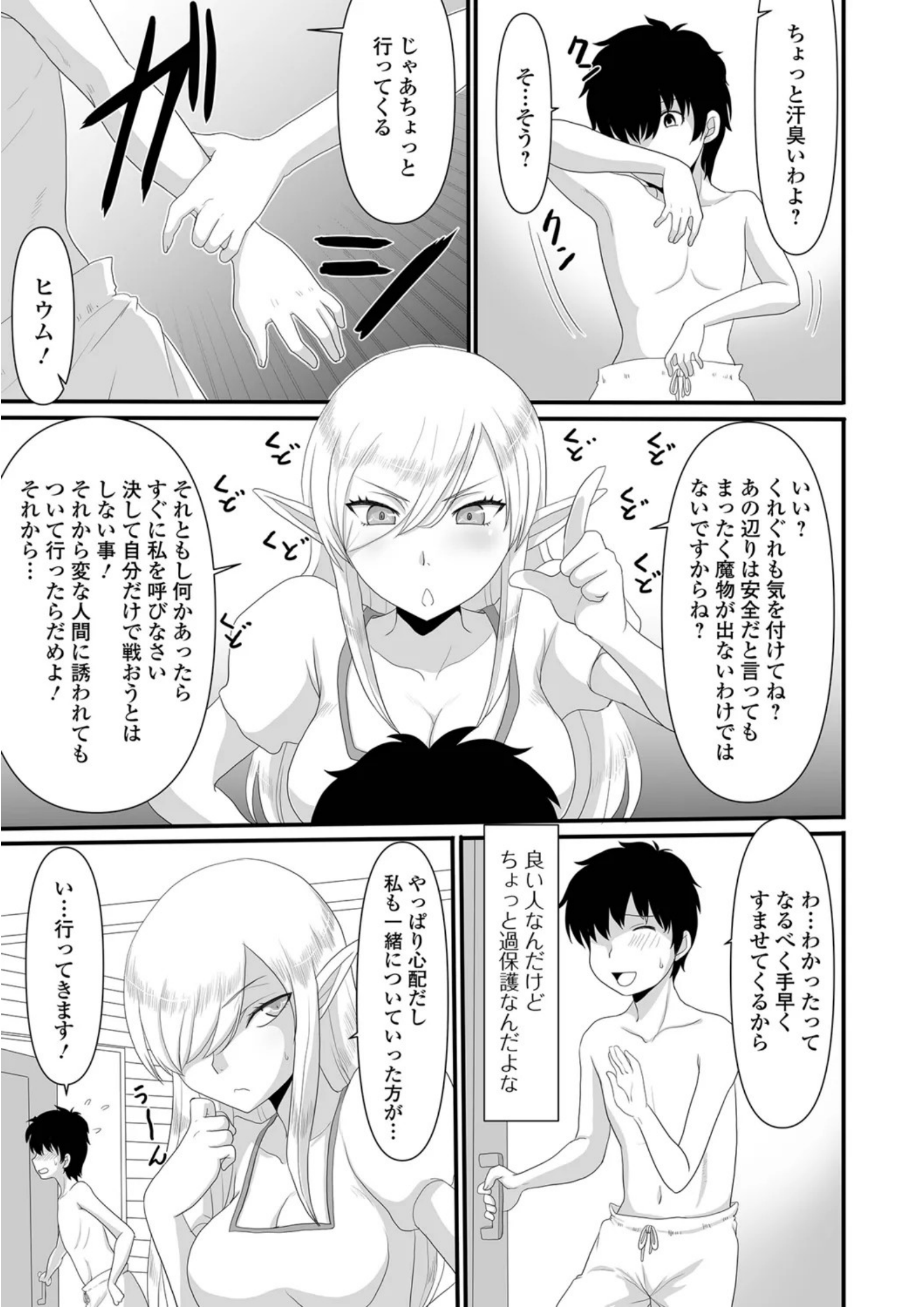
…そうだな…
俺は…
俺はかつて人間だった…
END

…見たことのない
風景だ…
そして何故か俺は
赤ん坊になっている
何故こうなったかは
置いておいて
今するべき事は
助けを求める事！
取り敢えず
泣いてみるか
…こんな場所に
人間の赤子？
そして俺は
このエルフの女
フォルネアに拾われ
育てられる事になった
妖精に拾われる

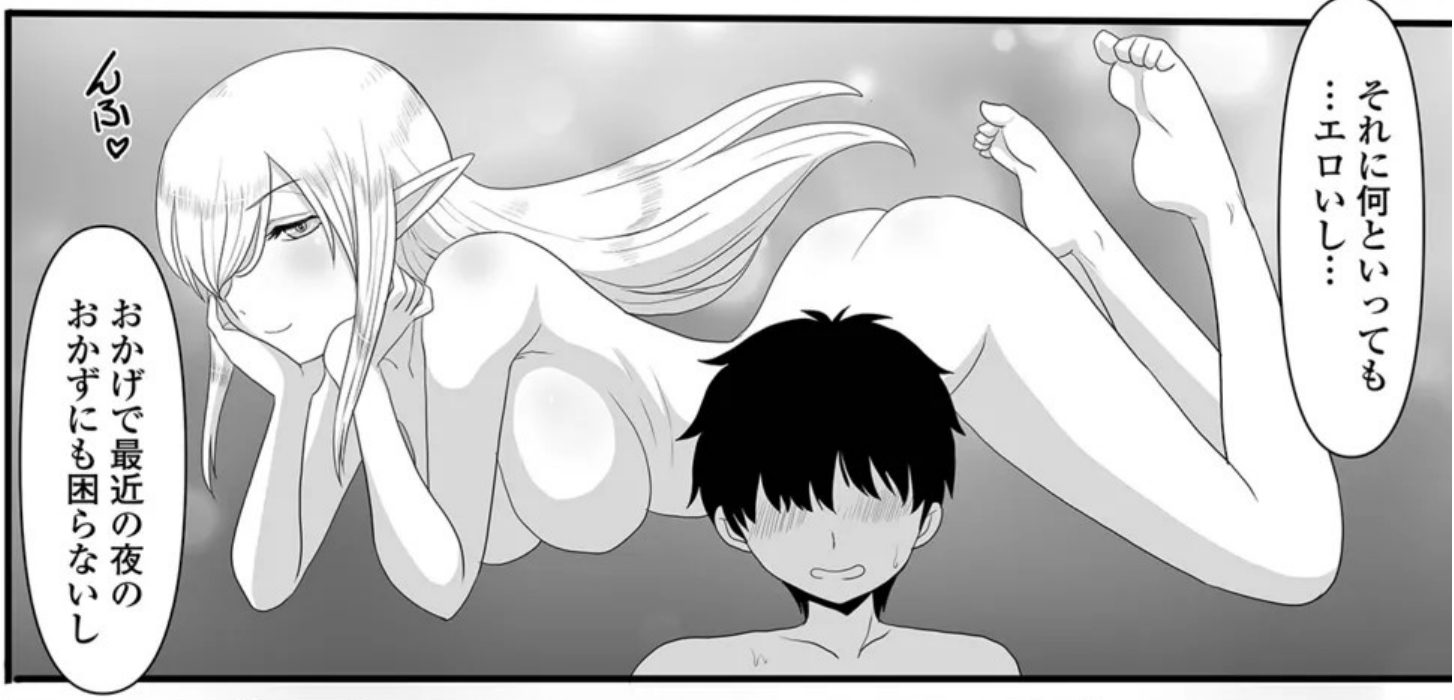
そして十数年後…
ふ～…
今日はこんなもんかな
ヒウム～

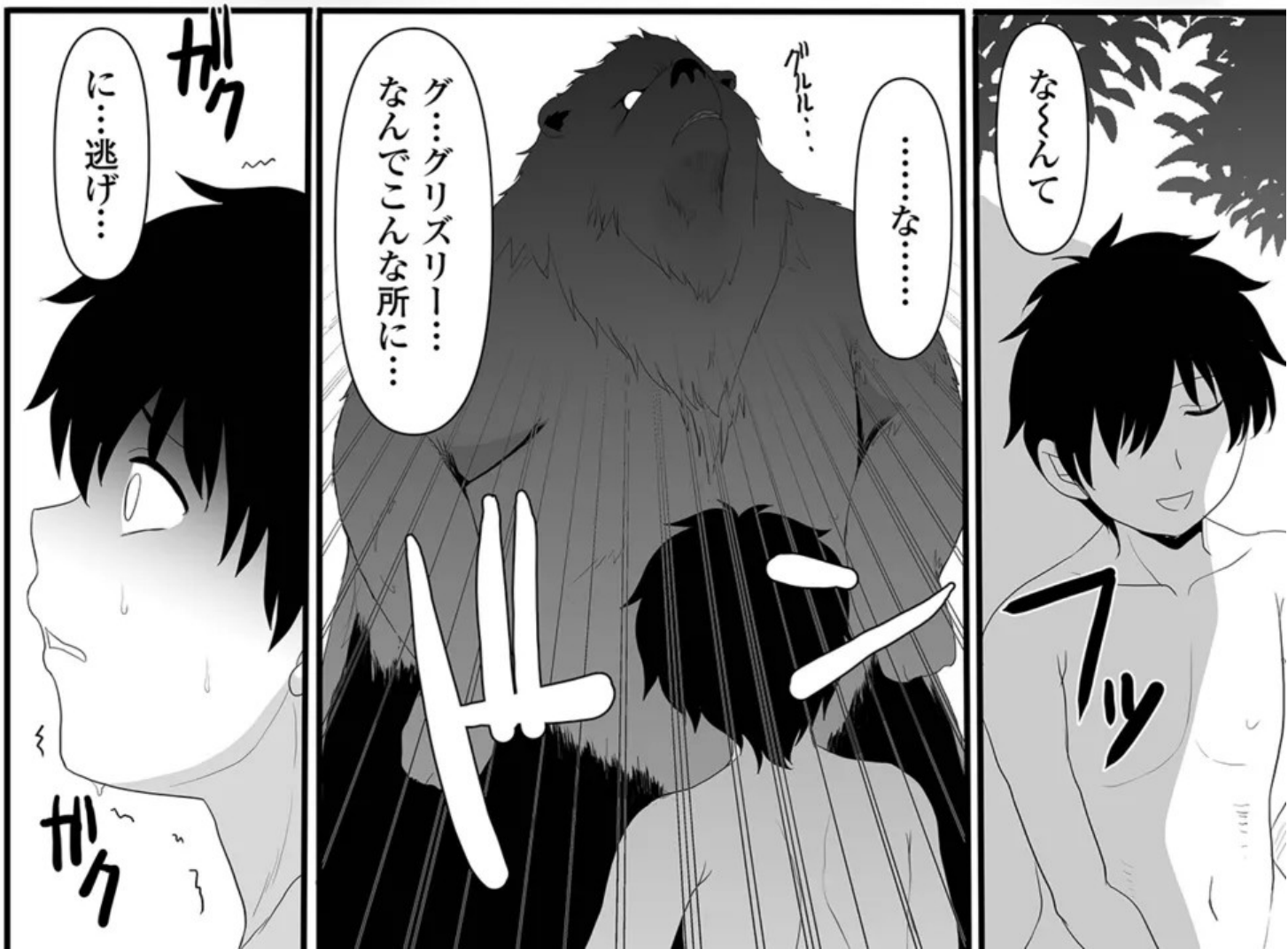

何か用だった？
フォルネア
ガチャ
あ…ヒウム～


もうすぐ食事ができるから
今のうちに水浴びして
汗流してらっしゃい
彼女…フォルネアは
転生した赤子の俺を拾って
育ててくれたエルフだ


ちょっと汗臭いわよ？
クンクン
そ…そう？
クンクン
じゃあちょっと行ってくる
ガチャ
ヒウム！
いい？くれぐれも気を付けてね？あの辺りは安全だと言ってもまったく魔物が出ないわけではないですからね？
ゴゴゴゴゴゴゴゴ
それともし何かあったらすぐに私を呼びなさい決して自分だけで戦おうとはしない事！それから変な人間に誘われてもついて行ったらだめよ！それから…
わ…わかったってなるべく手早くすませてくるから
良い人なんだけどちょっと過保護なんだよな
やっぱり心配だし私も一緒についていった方が…
うーん
い…行ってきます！

ちょっと依存体質な所を感じるんだよな
パシャ
パシャ
まあありがたいんだけど…

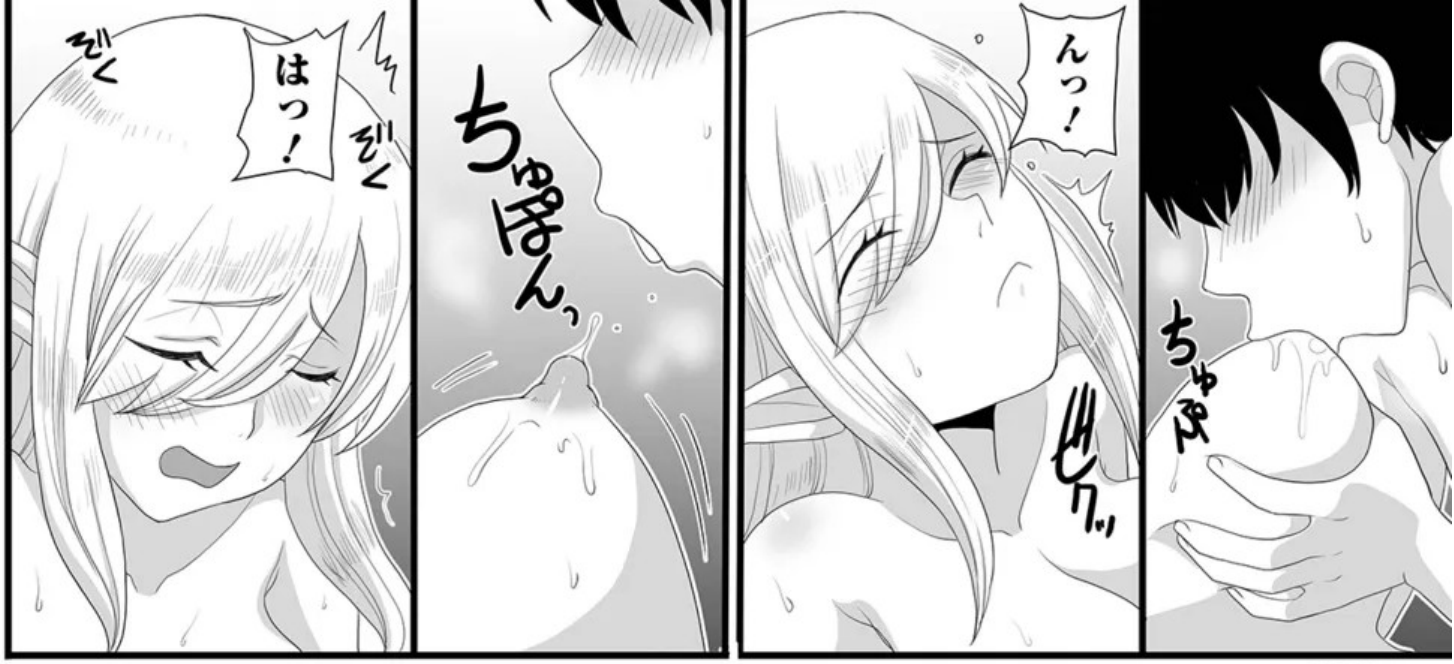

それに何といっても…エロいし…
んふ♡
おかげで最近の夜のおかずにも困らないし

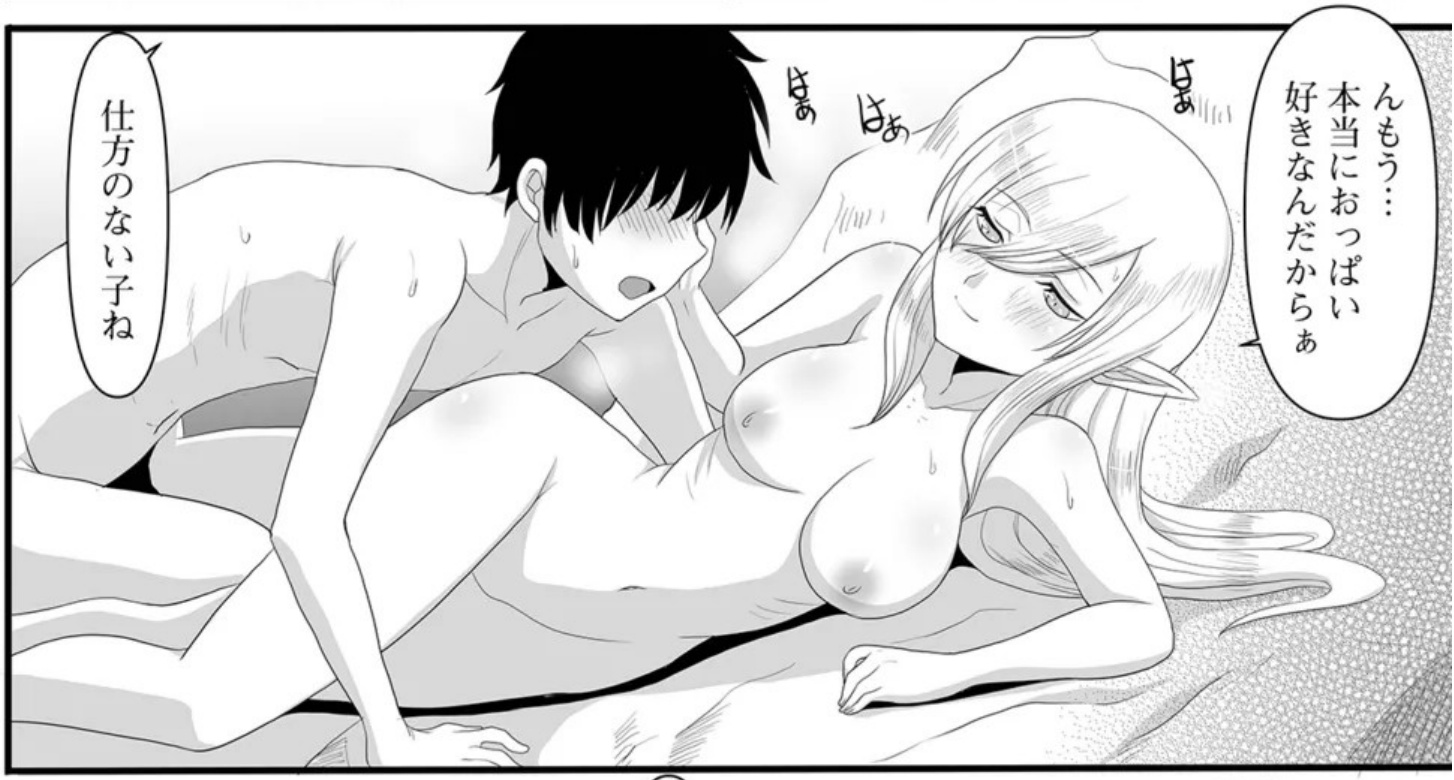

な〜んて
フッ
……な……
グルル…
グ…グリズリー…なんでこんな所に…
ガク
に…逃げ…
ガク

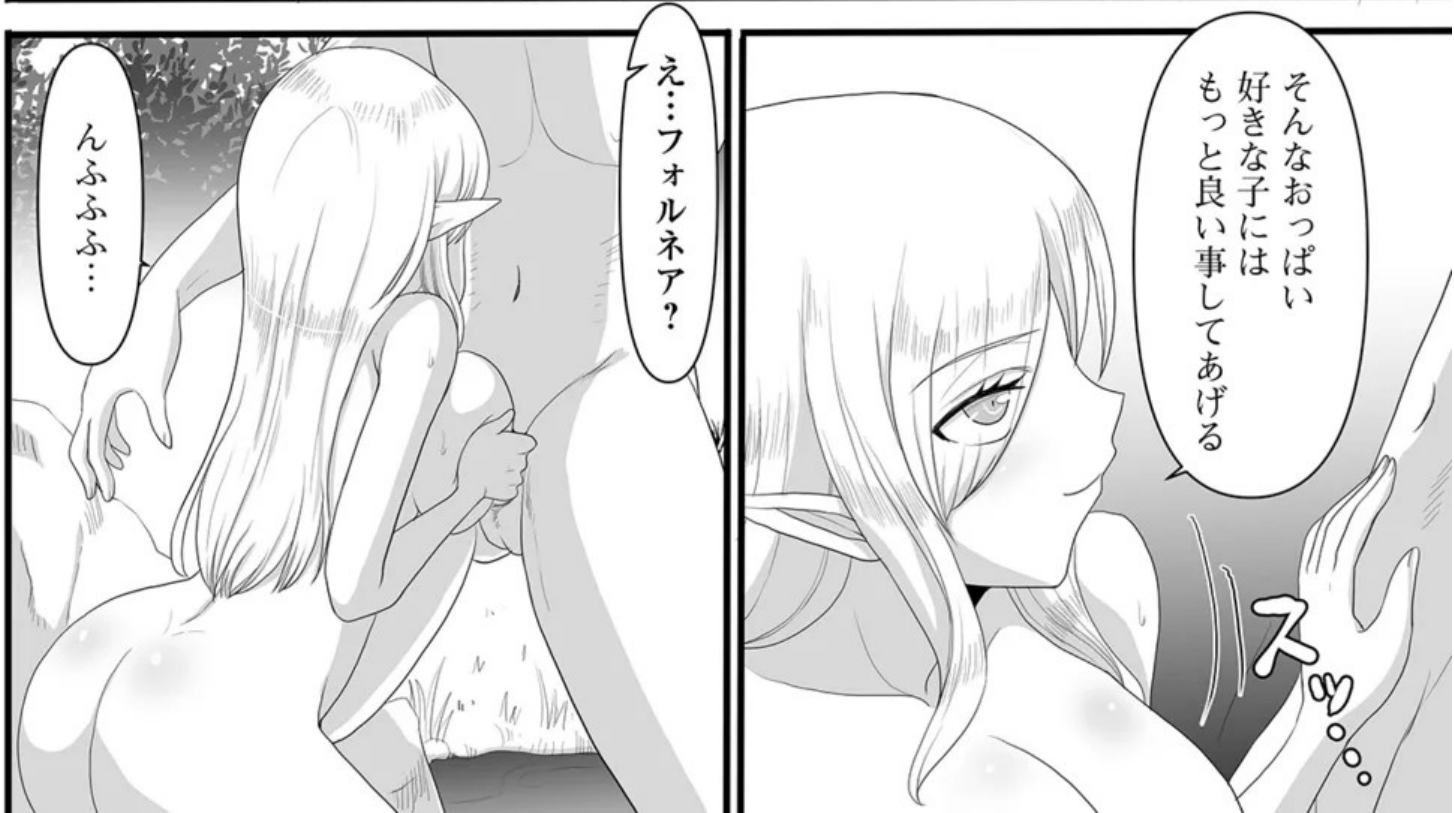
ヒウムに近づくな熊ころが！
返り血浴びた身体で抱きつかないでよ！
ヒウムうう
フォルネ…
…あら本当
ドロ…
ち…ちょっと！
じゃあせっかくだから私も一緒に水浴びしちゃおっかな
クス
えっ!?

ふう…気持ちいいわねヒウム？
ヒウム？どうしたのそんな端にいって
い…いや流石に恥ずかしいというか…
本当は今にでも襲いかかりたいけど…
なによ～！今更照れる事ないでしょ？おしめだって替えてあげてたんだから
わっ…ちょっと！
あら？
ふ～ん…ヒウムもそんな歳か～
そうだね…ヒウムもそろそろ知っておくべきかな…
ピチャ
チャプ

ヒウムも
男になったんだね
おいで…
女を教えてあげる
クイ♡
い…いいの？
じ…じゃあ…
ん！
ゴク・
ゼクッ
ふふ…昔から
おっぱい好きだったもんね
フォルネア！
ゼハーン
んあっ！


ちゅぽ
んっ！
ちゅぽんっ
はっ！
ぴくぴく

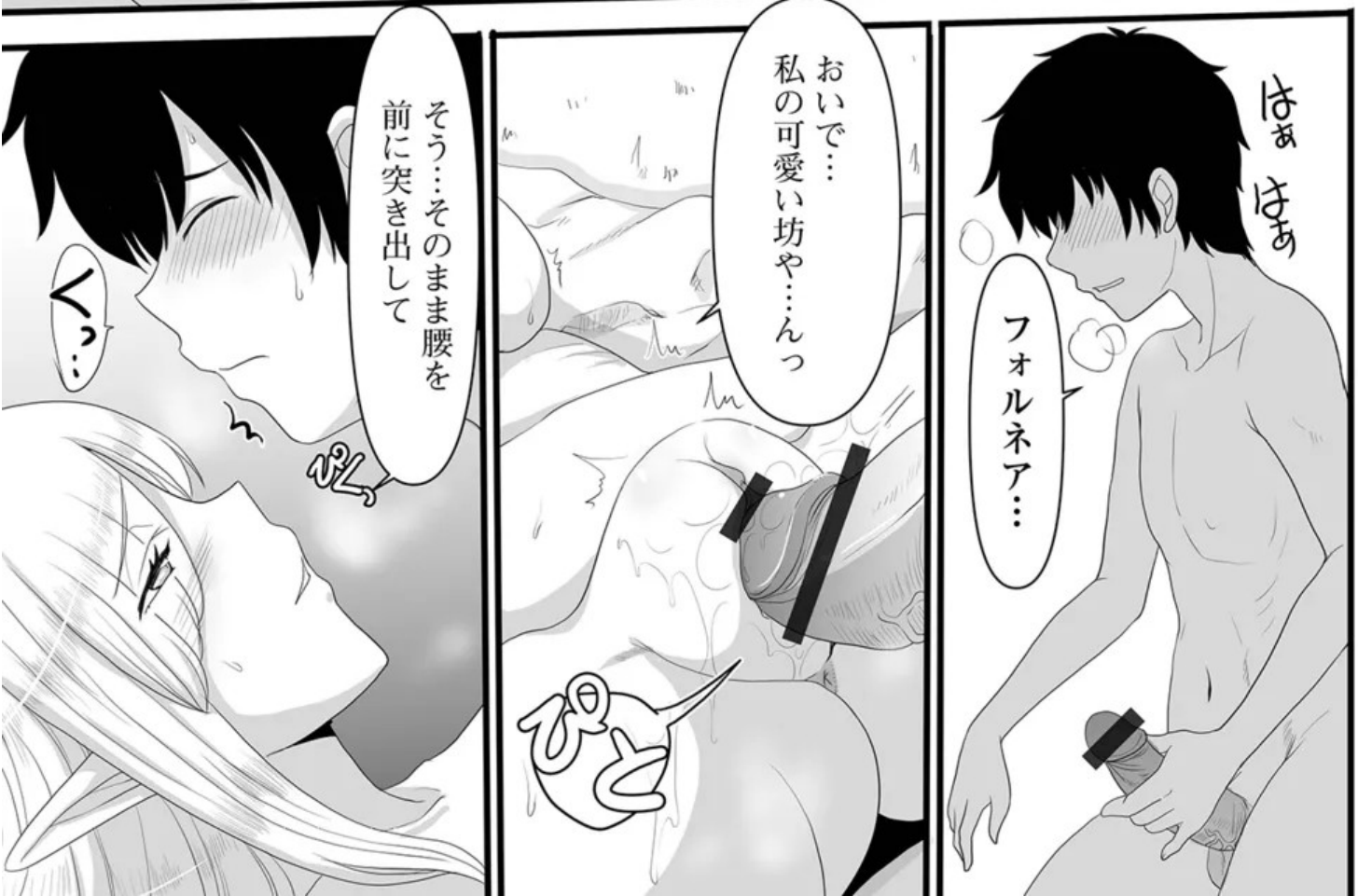

んもう…
本当におっぱい
好きなんだからぁ
はぁ
はぁ
はぁ
仕方のない子ね


そんなおっぱい
好きな子には
もっと良い事してあげる
スッ…
え…フォルネア？
んふふふ…

おっぱいから
はみ出るなんて
ヒウムはここも
大きくなったんだね
…ん…
フォルネア…
それ…凄いよ…
んふふふ…
気持ち良い？
じゃあもっとサービス
してあげる
んっ！
んぼっ！
じゅぽ
じゅぽ

くっ…
フォルネア！
んんっ!!
プッ!!
んはぁ…
凄い量…
んっ…
コクン…
よっぽど溜まってたのかしら
ぷはぁ

じゃあちょっと
落ち着いた所で…
私を使って
一人前の男に
なってちょうだい
ぱくっ
ぁお

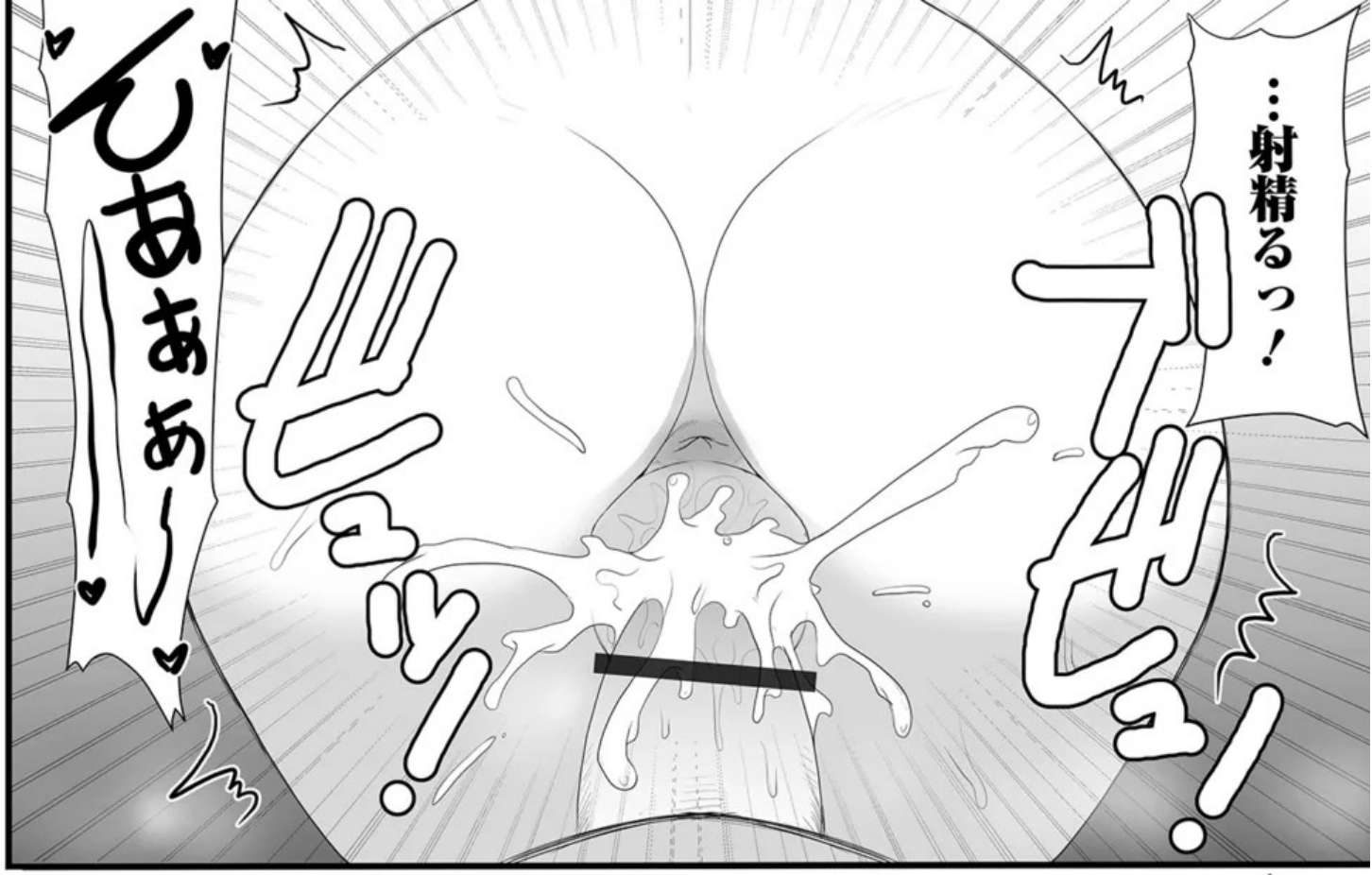

はぁ はぁ
フォルネア…
おいで…
私の可愛い坊や…んっ
そう…そのまま腰を
前に突き出して
くっ…
ぴと

ぜろっ
んっっ!!
オーン!!
つ〜
フォルネアの膣内…
温かくて気持ち良い
はぁ
はぁ
ん…ふふ…良かった
初めて同士だけど
上手くいったね
…えっ!?
は…初めてって…
確かフォルネアの
年齢って
こーらっ
女性に年齢の話を
するもんじゃないの!
人間にとっては
ビンテージかも
知れないけど
エルフとしては
まだ若いんだから
別におかしくないでしょ?

フォルネア…俺…
はぁ
はあ
ん…いいよ
好きに動いて
フォルネア！
フォルネアぁ！
チュ
チュ
チュ
チュ
んっ…あっ！
ヒ…ヒウムぅ！
チ
あんっ
ひあっ！
おっ！

フォルネアの膣内気持ち良いよ
あっ
あっ
ん…私も…んあっ！
ねえ…キス…キスしてぇ
ひっ!!
キチュ
キチュ
キチュ
ん…んぅ…
レロぉ
ちゅっ
あぎぃぃぃ
あっ…これぇ奥がこすれるぅ
ゴツ
ゴツン
赤ちゃんの部屋ノックしてるぅ！
んひぃ
キチュン
キチュン
キチュ
キチュ

あっ…やあっ！
後ろからなんて！
外でこんな
獣みたいな恰好…！
ぶるん
ぶるん
イくイくイくっ


…射精るっ！
ぶぴゅ！
ぴゅっ！
ぴゅっ！
ひぁぁあ～♥

はー、はー、はー、
はー、はー、
せクッ
せクッ

…フォルネア
ん？
俺を拾ってくれてありがとう…
はー、はー、
……どういたしまして
END